2010 年度 · 2012 年度 東京大学史料編纂所社会連携研究部門

# 研究成果報告書

、テム:ADEAC(A System of Digitalization and Exhibition for Archival のデジタル化に伴う、本文検索および引用・掲載史料の閲覧を目的としています。「自治体史」 る横断検索ができます。

年~2012 (平成24) 年度における東京大学社会連携研究部門「図書館等所蔵史料の調査・整備



東京大学史料編纂所「社会連携研究部門」

東京大学史料編纂所研究成果報告 2012-3

2010年度-2012年度 東京大学史料編纂所社会連携研究部門

# 研究成果報告書

# 東京大学史料編纂所研究成果報告2012-3 2010年度-2012年度 東京大学史料編纂所社会連携研究部門 研究成果報告書

# 目次

4	X			
資	料			
1.			社会連携研究部門」研究計画	
	1.1		「社会連携研究部門」概念図	5
	1.2		研究計画	6
	1.3		研究課題概要(検索要求)	8
2.			自治体史検索・編纂引用史資料閲覧システム(ADEAC)仕様	
	2.1		『石川県史』デジタル化仕様	9
_			「白沙井中」のフィニナフトル	
3.	3.1		「自治体史」のフルテキスト化 デジタル化要求仕様	45
	3.2		XML入力仕様書	48
	3.3		年表事項文対応の索引語抽出	66
4.			史資料デジタル撮影仕様	
	4.1		デジタル撮影要求仕様	67
	4.2		デジタル画像データのメタデータ	70
5.			史資料のメタデータ	
	5.1		史料メタデータ項目	72
	5.2		史資料のメタデータ例―『石川県史』第三編引用史料のメタデータ―	75
6.			ADEAC利用案内	
	6.1		ADEAC利用マニュアル	76
7.			報告等	
	7.1		所内研究発表会-着手報告	88
	7.2		所内活動報告	91
	7.3		成果発表シンポジウム概要	97
	7.4		その他	
		1)	ADEAC-β版提供概説資料	98
		2)	報道記事	110
		3)	シンポジウム記事	111
		4)	ポスターセッション発表報告	112
		5)	自治体史デジタル化の現状	113

# 本文

# 2010年度-2012年度「社会連携研究部門」研究成果

# 1. 研究の目的

史料の統一的なデジタル化、目録化および閲覧方式を構築し、公共図書館・文書館・博物館等の 所蔵史料の有効活用のための横断検索機能の実現を図ることを目指し、東京大学史料編纂所に社会 連携研究部門を設置し、産学共同研究にて研究開発に取り組ました。

- ・研究課題:図書館等所蔵史料の調査・整備研究
- •研究担当:東京大学史料編纂所 石川徹也特任教授(研究主查)、梅田千尋特任准教授
- ・参加企業:大日本印刷株式会社 (DNP)、株式会社図書館流通センター(TRC)、株式会社丸善、 株式会社雄松堂、コンテンツ株式会社
- ・研究期間:2010年4月~2013年3月

# 2. 研究概要

#### 2.1. 研究概要

自治体史を対象にテキスト検索システムの研究開発と、当該自治体史に引用の史資料のデジタル 化および閲覧システム (ADEAC: 自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム) の構築を図る。

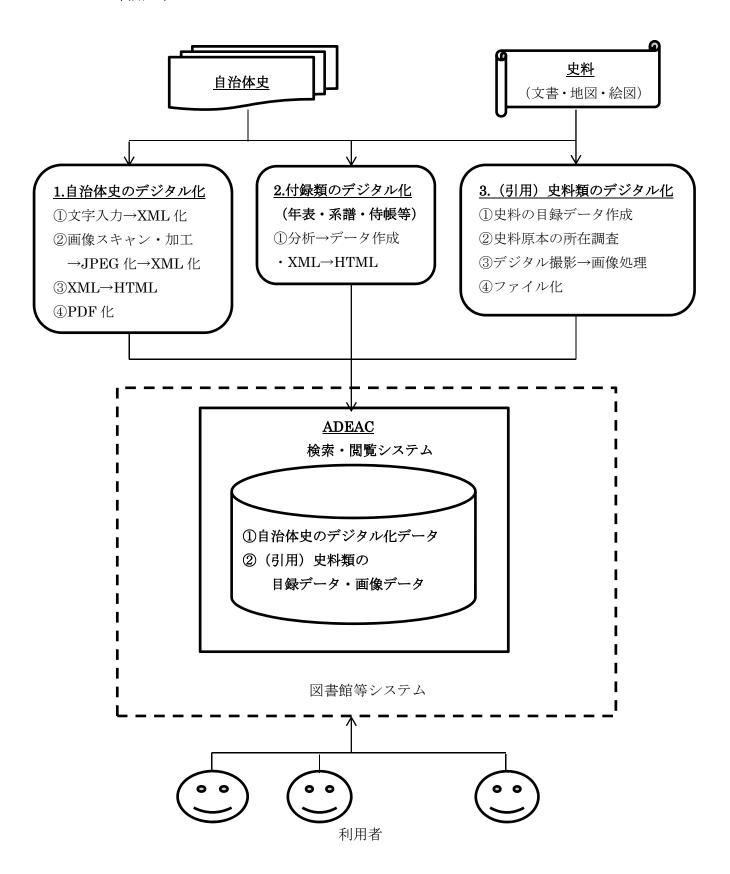
#### 2.2. 研究経過

上記研究目的の推進に、『石川県史』第二編および三編を対象に、石川県立図書館の協力を得て、 推進してまいりました。

# 3. 研究成果

研究成果について、研究システムの各機能の検討結果の資料を以て報告とします。基本的機能を 図に示します。

# ADEAC の利用工程



# 4. 研究成果(検討資料)

以下、本報告書所収資料の性格について簡単に説明します。

# 1. 「社会連携研究部門」研究計画

1.1「社会連携研究部門」概念図 研究の目的と研究体制を概念的に説明した資料です。

1.2 研究計画

実証型研究であることから、所内の議を経て『石川県史』第二編を対象に、石川県立図書館の協力を得て(「覚書」の取交)推進することとなり、そのための研究範疇を説明した資料です。

1.3 研究課題概要(検索要求)

「自治体史」に対する検索要求を検討し概念化した資料です。ADEAC の基本概念を表現しています。

## 2. 自治体史検索・編纂引用史資料閲覧システム (ADEAC) 仕様

上記、1.3 の基本概念、伴って1.2 の具体化機能を元に、実際のシステム機能についてシステム 仕様を説明した資料です。システム化に大日本印刷株式会社(DNP)の協力を得ました。

2.1 『石川県史』デジタル化仕様

#### 3. 「自治体史」のフルテキスト化

3.1 デジタル化要求仕様

自治体史の内容を対象に検索するために、自治体史のテキストデータ化を図る必要があります。このための要求仕様書です。

3.2 XML 入力仕様書

上記要求仕様に従い、テキストデータ化の仕様書です。大日本印刷株式会社 (DNP) に担当いただきました。

3.3 年表事項文対応の索引語抽出

『石川県史』第二編には、年表、系譜、侍帳といった付録が付いています。付録を通史本文 と同等にテキスト検索しても検索精度は保証できず、また検索結果表示も曖昧になります。 そこで、それぞれ構造化を図りました。年表については事項文を索引語化しています。この ための仕様です。

#### 4. 史資料デジタル撮影仕様

4.1 デジタル撮影要求仕様

編纂引用史料については、刊本掲載の写真では書影等は分かるにしても、子細判読不可能です。少なくとも図書館所蔵の史資料はデジタル化画像データとして公開する義務はあります。 そこで、史資料の画像データの公開を目的に撮影仕様を、コンテンツ株式会社と検討しまし た。その仕様です。

4.2 デジタル画像データのメタデータ

デジタル画像データは、記録媒体、閲覧システムおよび閲覧端末の発展に伴い書き換えが必要になります。このためには画像データの撮影特性データ (デジタル画像データのメタデータ) の保存が非常に重要になります。そのためのデータ項目です。

# 5. 史資料のメタデータ

5.1 史料メタデータ項目

史資料の目録(メタ)データは、図書館所蔵資料の目録データでは検索要求には事欠きます。 そこで、種々の調査を行い、最大限のメタデータ項目の設定を行いました。

5.2 史資料のメタデータ例 - 『石川県史』第三編引用史料のメタ―データ - 設定メタデータ項目を元に、実史資料の目録データ事例です。データ作成に株式会社図書館 流通センター(TRC)の協力を得ています。

# 6. ADEAC 利用案内

自治体史データ検索および編纂引用史資料の閲覧システム ADEAC を開発しました。その利用マニュアルとヘルプメッセージです。

6.1 ADEAC 利用マニュアル

# 7. 報告等

- 3年間の研究期間において、時々に報告した研究報告等です。
- 7.1 所内研究発表会一着手報告
- 7.2 所内活動報告:2010、2011、2012(予定)

年単位の所内への研究活動報告書です。

- 7.3 成果発表シンポジウム概要、2011.10.14 開催、山上会館
- 7.4 その他
  - 1) ADEAC-β 版提供概説資料
  - 2) 報道記事(『北国新聞』2010年10月14日朝刊)
  - 3) シンポジウム記事 (『東京大学学内広報』 2012 年 1 月 25 日号)
  - 4) ポスターセッション発表報告(『全史料協会報』No.91)
  - 5) 自治体史デジタル化の現状

以下、上記の順に掲載します。

# 資料 1. 「社会連携研究部門」研究計画

1.1 「社会連携研究部門」実施概念図

(2009.10 石川作成)

# 1. 連携研究の目的

公共図書館、大学図書館等が所蔵する歴史資料を、共同し<u>有効活用化する方式の確立</u>を目指す(申出者側理解:公共図書館・大学図書館等所蔵史料の有効活用化事業)

#### ①研究対象事項

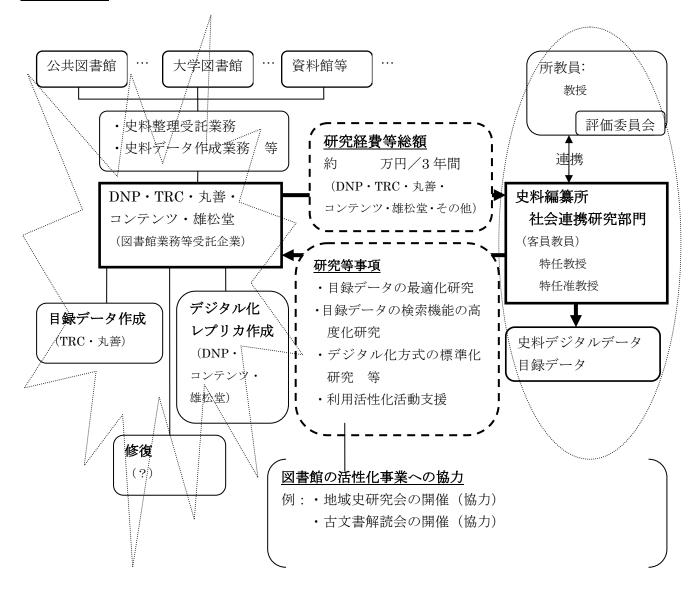
例:・目録データの最適化

- ・目録データの検索機能の高度化
- ・デジタル化方式の標準化 等

#### ②社会貢献事項

例:・図書館の活性化事業への協力

# 2. 実施形態 (概念図)



# 1.2 東京大学史料編纂所「社会連携研究部門」研究計画

(2010/05/14 石川作成)

- 1. 目的…『石川県史』の検索システムの構築研究(モデル事業(研究))
- 2. 研究計画・・・『石川県史』1巻(第2編)を対象に下記を研究・試行し、方式の確立を目指す
  - 1)『石川県史第2編』のデジタル化およびフルテキストデータベース化(研究) 方式および径費のマニュアル化
  - 2)検索システムの構築(研究)
  - 3) 課題検討・・・①システムの運用検討と将来計画(全国規模の実施と横断検索システムの確立) ②図書館所蔵外史料のデジタル化

# 3. 実施計画

1) 『石川県史第2編』の選択事由

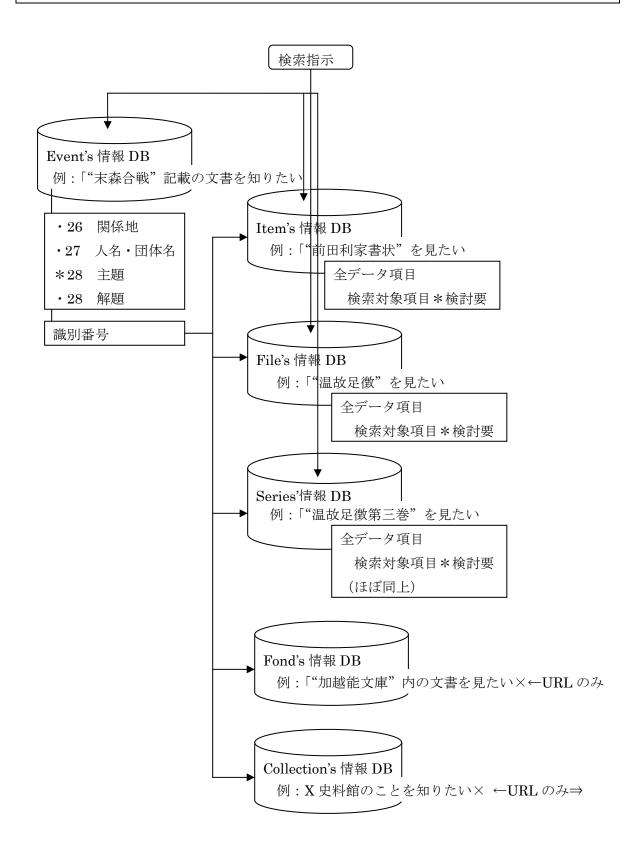
編	対象期間および対象事項	備考
第1編 s.2.3 発行	上古〜戦国の事象	
第 2 編 3.3	封建制の確定〜解消の政治	通史(翻刻)編=1482頁
	(天正 11 年 前田利家 金沢城施行)	付録(系譜・侍帳・年表・索引)
	明治4年 廃藩置県の289年間	=183 頁
第 3 編 4.12	封建制の確定〜解消の制度・学問・工芸・	
	経済	
第 4 編 6.3	県制発布以降~明示末の県政・社会相	
第 5 編 8.3	風土誌	
史要 7.2		

# 2) 2編の作業課題・・・デジタル化/データ整備/検索機能

構成		デジタル化	検索対象
本編:	通史本文	<b>通史本文(頭注-本文)DB</b> ・通史本文 full-text 化 ・版面 image 化	①目次→本文閲覧→掲載モノ閲覧*1 ②索引語検索→本文閲覧→同上 ・頭注句/語(人手切出) ・付録の索引語 ・年表索引語(人手指示) ・掲載史料通史本文内参照語
-	写真掲載史料	リスト化→所蔵調査 撮影→imageDB 目録作成 解題作成 掲載写真通史本文内参照語指示	①リスト指示→*1目録データ (→image)
-	翻刻掲載文書	リスト化→所蔵調査 撮影→imageDB 目録作成 解題作成 翻刻文書通史本文内参照語指示	①リスト指示→*1目録データ (→image) ②FKW 検索→同上/版面 image
付録:	系譜	系譜→人物 DB(人出作成)	①人名検索(人物 DB)*3→本文参照 →侍帳 DB*2
	侍帳	<b>侍帳 DB</b> ・本文 full-text 化 ・版面 image 化	①人名検索(侍帳 DB)*2→本文参照 →石高変換 →人物 DB*3
	年表	年表 DB         ・年表本文 full-text 化         (西暦・年号・干支・天皇・将軍・藩主)         人名・地名・事項 (人出指定)         索引語 file	①年表検索→本文閲覧 ・人名* <sup>2,*3</sup> ・地名・事項検索
	索引	<ul><li>・索引語</li><li>・年表索引語</li><li>・頭注句/語(人手切出)</li><li>・掲載史料通史本文内参照語</li></ul>	

# 1.3 調査のための検索要求と検索対象

(石川作成)



- 2. 自治体史検索・編纂引用史資料閲覧システム(ADEAC)仕様
  - 2.1 『石川県史』デジタル化仕様

# ADEAC 自治体史テキスト検索 および編纂史料閲覧システム

外部仕様書

第 1.1 版 2012年10月18日

大日本印刷株式会社

9

# 改訂履歴

改訂号数	修正日	修正内容	担当者
1.0	2012/3/21	新規作成	DNP 情報システム
1.1	2012/11/19	延宝金沢図の表示機能を追加	DNP 情報システム

# 目次

1. はじめに	. 12
2. システム概要	. 13
2.1. 概要	
2.2. システム構成図	. 13
2.3. ハードウェア構成	. 14
2.4. ソフトウェア構成	. 14
2. 5. DB 定義	. 14
3. 自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム	15
3.1. 画面構成	
3.2. 画面遷移	
3.3. 画面仕様	
3.3.1. トップ画面	
3.3.2. メニュー画面	
3.3.3. 目次一覧画面	
3.3.4. 本文閲覧	. 21
3.3.5. 目録データ閲覧画面	. 23
3. 3. 6. 史料所蔵情報画面	. 24
3.3.7. 撮影画像メタデータ閲覧画面	. 25
3.3.8. キーワード検索画面	. 26
3.3.9. 索引語検索結果画面	. 27
3.3.10. 索引語一覧画面	. 28
3.3.11. キーワード検索結果	. 29
3.3.12. 系譜検索画面	. 30
3.3.13. 系譜検索結果	
3.3.14. 系譜詳細画面	. 32
3.3.15. 系譜 藩主・老臣 家別一覧画面	. 33
3.3.16. 系譜 人物一覧画面	
3. 3. 17. 侍帳検索画面	
3. 3. 18. 侍帳検索結果	
3.3.19. 侍帳 氏名一覧 五十音順画面	
3.3.20. 侍帳 氏名一覧 刊本掲載順(藩名禄高順)画面	
3.3.21. 郷帳検索画面	
3.3.22. 郷帳検索結果	
3.3.23. 郷帳 村名一覧画面	
3.3.24. 年表検索画面	
3.3.25. 年表検索結果	
3.3.26. ヘルプ	. 44

# 1. はじめに

本書は、自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システムに適用される設計書である。

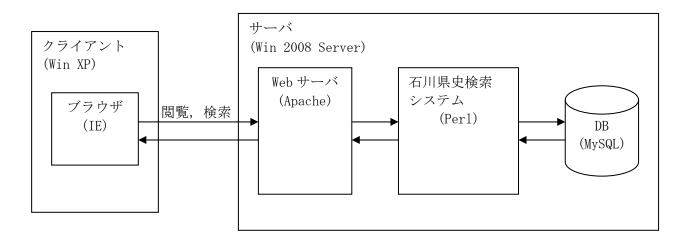
# 2. システム概要

# 2.1. 概要

このシステムは、石川県史の第2編、第3編をデジタル化したデータの閲覧および検索機能を提供する。本システムへのデータ登録は登録プログラムにより行う。

# 2.2. システム構成図

本システムの構成を以下に示す。



# 2.3. ハードウェア構成

本システムのハードウェア構成を以下に示す。

No	役割	説明
1	サーバー	東京大学史料編纂所様で管理する自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧
		システム用サーバー。
2	クライアント	自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システムを利用するクライアン
		⊦.

# 2.4. ソフトウェア構成

本システムのソフトウェア構成を以下に示す。

No	配置先	名称	説明
1	サーバー	Windows 2008 Server standard SP2	0S
2		Apache 2.2	HTTP サーバー
3		MySQL 5.1	データベース
4		Perl 5.10 (文字コード系 UTF-8)	CGI プログラム
5	クライアント	Windows XP SP3	0S
6		IE6, 7, 8	ブラウザ(IE6 は XP のみ)

# 2.5. DB 定義

本システムで使用する DB の定義は「自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システムスキーマ定義書」を参照。

# 3. 自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム

# 3.1. 画面構成

本システムは以下の画面で構成される。

画面	説明
共通機能	
トップ画面	自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システムのトップ画面
	を表示する
メニュー画面	石川県史検索システムのメニューを表示する
延宝金沢図画面	延宝期の金沢の地図を表示する
刊本画面	石川県史の刊本を表示する
本文閲覧	
目次一覧	目次一覧を表示する
本文閲覧	本文を表示する
目録データ閲覧	目録データ閲覧を行う
史料所蔵情報	目録データの所在情報を表示する
撮影画像	目録の高精細画像を表示する
撮影画像メタデータ閲覧	高精細画像の画像メタデータを表示する
キーワード検索	·
キーワード検索	キーワード検索および索引語検索を行う
キーワード検索結果一覧	キーワード検索結果を一覧表示する
索引語一覧	索引語の一覧表示を行う
索引語検索結果一覧	索引語を条件にキーワード検索を行った結果を表示する
系譜検索	·
系譜検索	系譜検索を行う
系譜検索結果	系譜検索結果を一覧表示する
藩主・老臣 家別一覧	藩主および老臣を一覧表示する
人物一覧	人物を一覧表示する
系譜詳細	系譜の詳細情報を表示する
侍帳検索	
侍帳検索	侍帳検索を行う
侍帳検索結果	侍帳検索結果を一覧表示する
氏名一覧 五十音順	侍帳の氏名を五十音順に一覧表示する
氏名一覧 刊本掲載順	侍帳の氏名を刊本掲載順(藩別禄高順)に一覧表示する
郷帳検索	
郷帳検索	郷帳検索を行う
郷帳検索結果	郷帳検索結果を一覧表示する
村名一覧	郷帳の村名、請新田村名を一覧表示する
年表検索	
年表検索	年表検索を行う
年表検索結果	年表検索結果を表示する
ヘルプ	•
ヘルプ	本システムのヘルプを表示する

# 3.2. 画面遷移

本システムの主な画面とその遷移を以下に示す。 史 料 所 蔵 情 トップ画面 撮影画像メタ 目録データ [目録選択] データ閲覧 閲覧 [単語選択] 「単語選択] [標出選択] 本文表示 目次一覧 [検索実行] キーワード検 キーワード検 <u>索</u> 索結果 索引語検索 索引語一覧 メニュー画面 [索引語選択] 結果 <u>系譜検索</u> [氏名選択] 系譜詳細表 [検索実行] 系譜検索結 <u>果</u> 示 [氏名選択] 系譜藩主•老 系譜人物一 臣家別一覧 覧 [検索実行] <u>侍帳検索</u> 侍帳検索結 果 [氏名選択] <u>侍帳氏名一</u> <u>覧(刊本掲載</u> 侍帳氏名一 覧(五十音順) [検索実行] 郷帳検索 郷帳検索結 [村名選択] 村名一覧 年表検索 [検索実行] 年表検索結 ヘルプ

# 3.3. 画面仕様

本システムの各画面の仕様を以下に示す。

# 3.3.1. トップ画面

自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システムのトップ画面を表示する。



No	名前	種別	説明
1	ヘッダ		自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システムのメニュー画 面に遷移する
2	ボディ		同上

#### 3.3.2. メニュー画面

石川県史検索システムのトップ画面を表示する。

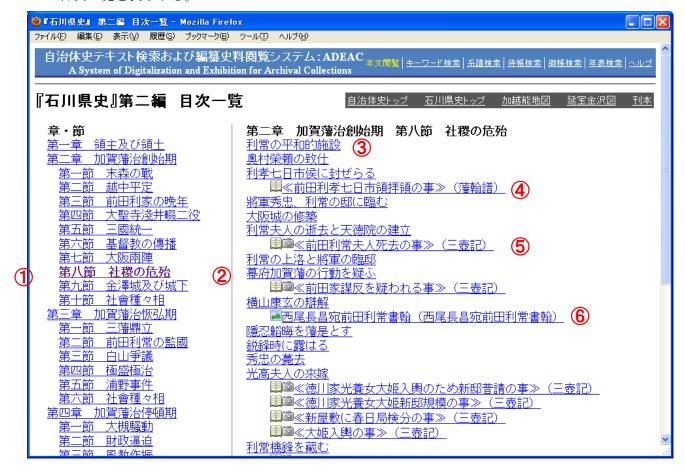


N.T.	からは多くのとも		국자 미디
No	名前	種別	説明
1	ヘッダ	リンク	各画面へのリンクを表示する
			(他画面でも共通のため以降では説明を割愛する)
2	本文閲覧	リンク	「本文閲覧」の上にマウスオーバーすると2編、3編を選択する
			ポップアップメニューを表示する。
			ポップアップメニューから目次一覧画面に遷移する。
3	キーワード検索	リンク	キーワード検索画面に遷移する
4	系譜検索	リンク	系譜検索画面に遷移する
5	侍帳検索	リンク	侍帳検索画面に遷移する
6	郷帳検索	リンク	郷帳検索画面に遷移する
7	年表検索	リンク	年表検索画面に遷移する
8	ヘルプ	リンク	選択された画面のヘルプ表示画面に遷移する
9	メニュー		各画面へのリンクを表示する
			(他画面でも共通のため以降では説明を割愛する)
10	自治体史トップ	リンク	自治体史トップ画面に遷移する
11	石川県史トップ	リンク	石川県史トップのメニューに遷移する
12	加越能地図	リンク	加越能地図(jpeg 画像)を表示する
13	延宝金沢図	リンク	延宝金沢図のコンテンツビューを表示する

No	名前	種別	説明
14	刊本	リンク	「刊本」の上にマウスオーバーすると2編、3編を選択するポッ
			プアップメニューを表示する。
			ポップアップメニューから刊本閲覧画面に遷移する。
			ポップアップメニューを表示する画面は以下のとおり。
			・メニュー画面
			・キーワード検索画面
			・年表検索画面
15	本文閲覧	リンク	第2編の目次一覧画面に遷移する
16	系譜検索	リンク	系譜検索画面に遷移する
17	侍帳検索	リンク	侍帳検索画面に遷移する
18	年表検索	リンク	第2編の年表検索画面に遷移する
19	キーワード検索	リンク	キーワード検索画面に遷移する
20	本文閲覧	リンク	第3編の目次一覧画面に遷移する
21	郷帳検索	リンク	郷帳検索画面に遷移する
22	年表検索	リンク	第3編の年表検索画面に遷移する
23	キーワード検索	リンク	キーワード検索画面に遷移する

# 3.3.3. 目次一覧画面

目次一覧を表示する。



	1		
No	名前	種別	説明
1	章•節一覧	リンク	刊本目次部の章および節を一覧表示する。
			章または節をクリックすると、選択した章・節の標出一覧を表示
			する。
			選択された章・節は太字で表示する。
2	標出一覧	リンク	刊本目次部の項目と、目次項目に対応する通史本文内の標出タイ
			トル、標出内に掲載されている翻刻掲載史料名および出典名、写
			真掲載史料の史料名を一覧表示する。
3	標出	リンク	標出をクリックすると、本文閲覧画面に遷移する。
4	翻刻掲載史料	リンク	翻刻掲載史料にはイベントタイトルと出典名を表示する。
			リンクをクリックすると目録データ閲覧画面に遷移する。
5	翻刻掲載史料	リンク	翻刻掲載史料(高精細画像有)にはイベントタイトルと出典名を記
	(高精細画像有)		載する。
			リンクをクリックすると目録データ閲覧画面(高精細画像リンク
			有)に遷移する。
6	写真掲載史料	リンク	写真掲載史料を表示する。
			ガラス乾板画像がある場合、ガラス乾板のアイコンを表示する。
			リンクをクリックすると目録データ閲覧画面に遷移する。

#### 3.3.4. 本文閲覧



10



青木善四郎等宛前田利家書翰 金澤市相川豐男氏藏

山を力攻し、遂に隼人を逐へり。この役定吉その祖直吉傳ふる所の法華題目を書したる赤幟を樹て、衆を勵まして先登す。<u>利家</u>之を賞し、定吉をして留りて<u>荒山</u>を守らしめき。

今日は度々注進令一祝著一候。仍あら山の敵、今夜は(わ)たりとりのくべきかと存候。人を付置、若のく事候はゞ、ごんげんに火をたて可し申候。即それまで人數をつかはし、てつはうはなしを出し、はなさせ可し申候。かつ山の口へは、織部(高畠定吉)など陣取より人を付置、やうだひきかせ申候。いづれも火をあひづに、人數を可し遺候。無一由斷一荒山口に人を付置尤候。火をあげ次第、人數を可し遺候。謹言。

又 左

十月廿六日 (天正十二年)

利 家印

青木善四郎殿

大屋助兵衞へ

進し之候

〔高畠氏文書〕 ([青木善四郎等宛前田利家書翰]) 12

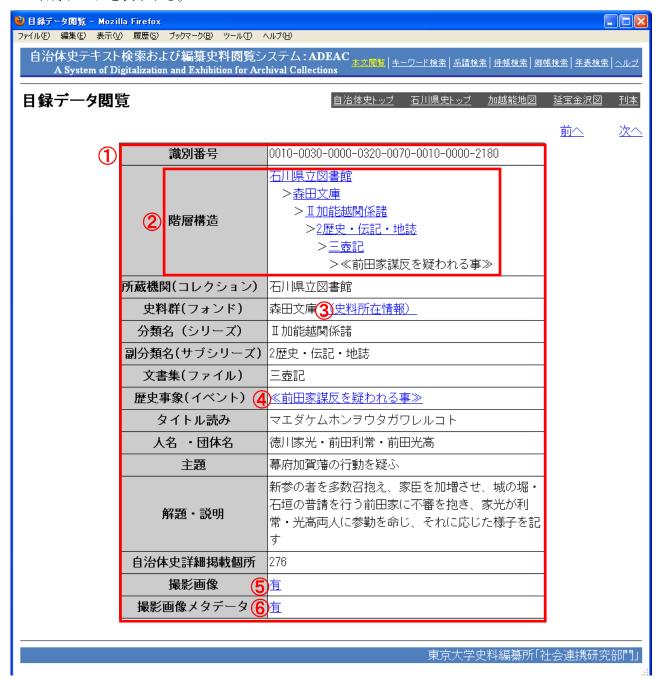
青木善四郎等宛前田利家書翰 (13)

東京大学史料編纂所「社会連携研究部門」

ſ			⊒V H□
No	名前	種別	説明
1	刊本	リンク	表示中の本文に対応する刊本を表示する
2	章節	テキスト	章、節を表示する
3	前へ	リンク	前のページへ遷移する。
			現在のページが先頭ページの場合は表示しない。
4	次へ	リンク	次のページへ遷移する。
			現在のページが最終ページの場合は表示しない。
5	標出	テキスト	標出を表示する
6	開始ページ数	テキスト	刊本での開始ページ数を表示する
7	終了ページ数	テキスト	刊本での終了ページ数を表示する
8	全ページ数	テキスト	全ページ数を表示する
9	本文	テキスト	本文を表示する
10	写真掲載史料	画像	写真画像とそのキャプションを表示する
11	索引語	リンク	索引語にはリンクを張る。
			リンクをクリックすると本文検索画面に遷移する。
12	翻刻掲載史料	リンク	翻刻掲載史料のタイトルを表示する。
			リンクをクリックすると目録データ閲覧画面に遷移する。
13	写真掲載史料	リンク	写真掲載史料のタイトルを表示する。
			リンクをクリックすると目録データ閲覧画面に遷移する。

# 3.3.5. 目録データ閲覧画面

目録データを表示する。



No	名前	種別	説明
1	目録データ	テキスト	目録データを表示する。
2	階層構造	テキスト	目録データの階層構造を表示する。
			階層が1段、多くなる毎にインデントを行う。
3	史料所蔵情報	リンク	史料所蔵情報画面に遷移する
4	歴史事象	リンク	対応する本文閲覧画面に遷移する
5	撮影画像データ	リンク	撮影画像データ画面に遷移する
6	撮影画像メタデ	リンク	撮影画像メタデータ画面に遷移する
	ータ		

# 3.3.6. 史料所蔵情報画面

史料所蔵情報を表示する。



No	名前	種別	説明
1	史料所蔵情報	テキスト	史料所蔵情報を表示する。

# 3.3.7. 撮影画像メタデータ閲覧画面

撮影画像メタデータを表示する。



RGB値 (No. 18)	4D6F84
RGB値(No. 19)	F8F7EE
RGB値 (No. 20)	C4C5C0
RGB値(No. 21)	959794
RGB値 (No. 22)	6B6D66
RGB値(No. 23)	323534
RGB値 (No. 24)	1E1D1D

閲覧画像の大きさ(縦)	7000
閲覧画像の大きさ(横)	6000
閲覧画像の容量	600164298
<b>公開形式</b>	ContentsView
ム阿ルル	Book
公開場所	

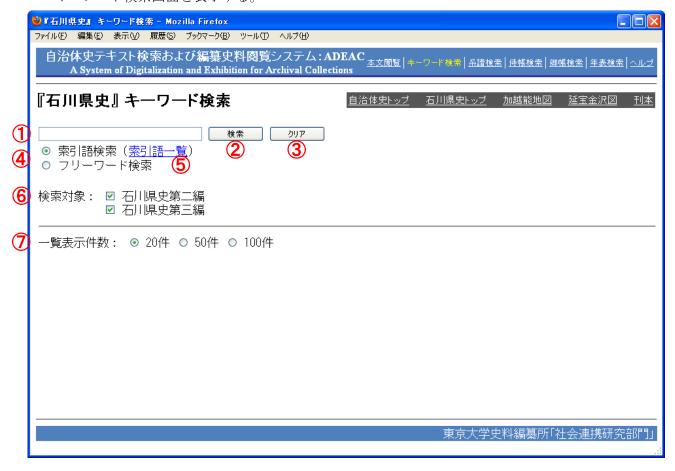
② 撮像画像データを閲覧する

東京大学史料編纂所「社会連携研究部門」

No	名前	種別	説明
1	撮影画像メタデ	テキスト	撮影画像メタデータを表示する。
	ータ		
2	撮影データ閲覧	リンク	撮影データ表示画面に遷移する。

# 3.3.8. キーワード検索画面

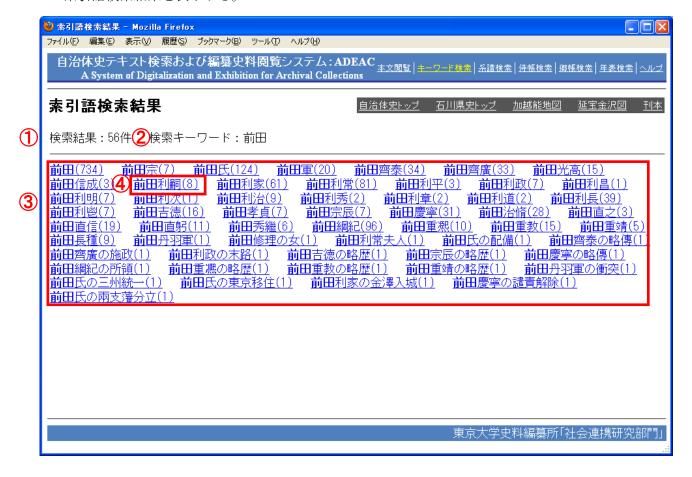
キーワード検索画面を表示する。



No	名前	種別	説明
1	キーワード	テキスト	検索条件となるキーワードを入力する。
		エリア	初期表示状態ではクリアされていること。
			複数指定する場合、半角スペースまたは全角スペースで区切る。
			複数指定された場合は AND 検索を行う。
			異体字検索が可能であること。
			検索対象は本文および標出とする。
2	検索	ボタン	入力されたキーワードを条件として検索を実行する
3	クリア	ボタン	入力されたキーワードをクリアする
4	検索種別	ラジオ	索引語検索またはキーワード検索を指定する。
		ボタン	デフォルトは索引語検索とする。
5	索引語一覧	リンク	索引語一覧画面へ遷移する
6	検索対象	チェック	検索対象を指定する。
		ボックス	指定対象は第2編と第3編。
			デフォルトでは両方チェックされている。
7	一覧表示件数	ラジオ	検索結果の表示件数を指定する
		ボタン	

#### 3.3.9. 索引語検索結果画面

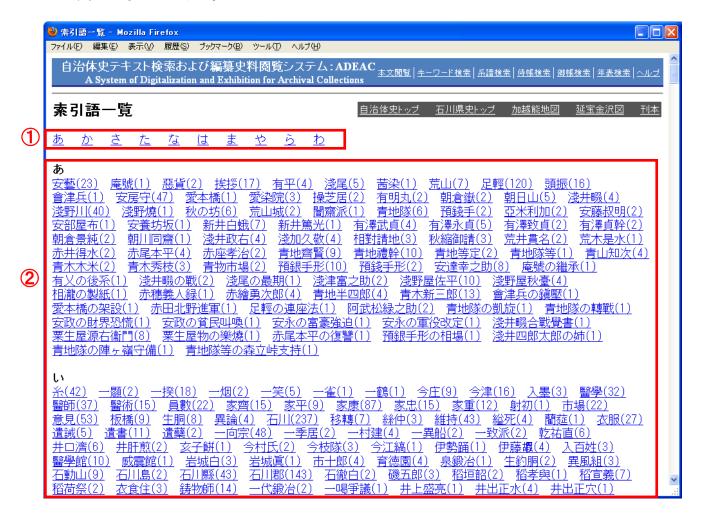
索引語検索結果を表示する。



	, NE 100011 - C 1		
No	名前	種別	説明
1	検索結果件数	テキスト	索引語検索の結果件数を表示する
2	キーワード	テキスト	検索条件のキーワードを表示する
3	索引語リスト	リンク	ヒットした索引語の一覧を表示する
4	索引語	リンク	索引語とその出現件数を表示する。
			リンクをクリックすると本文検索を実行する。

#### 3.3.10. 索引語一覧画面

索引語一覧を表示する。



No	名前	種別	説明
1	辞書リンク	リンク	「あかさたな」形式のリンクを表示する。
			リンクをクリックすると各索引語の見出し先頭に画面遷移する。
2	索引語一覧	リンク	索引語の一覧を表示する。
			リンクをクリックすると索引語をキーワードとして本文検索を実
			行する。

# 3.3.11. キーワード検索結果

キーワード検索結果を表示する。



1	予表示項目は以下(	りとわり。	
No	名前	種別	説明
1	検索結果件数	テキスト	検索結果の全件数を表示する
2	キーワード	テキスト	検索条件のキーワードを表示する
3	検索対象	テキスト	検索対象を表示する
4	先頭へ	リンク	先頭の検索結果ページを表示する。
			現在表示しているページが先頭ページの場合、表示しない。
5	前へ	リンク	前の検索結果ページを表示する。
			現在表示しているページが先頭ページの場合、表示しない。
6	ページ	リンク	検索結果ページを表示する
7	次へ	リンク	次の検索結果ページを表示する。
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。
8	最終へ	リンク	最後の検索結果ページを表示する。
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。
9	表示件数	テキスト	現在表示している検索結果件数と全ての検索結果件数を表示する
10	検索結果一覧	テキスト	キーワード検索結果の一覧を表示する。
			一覧は標出 ID の昇順で表示する。
11	本文	テキスト	本文を表示する。
			本文は、検索キーワード前後の規定文字数を抽出して表示する。
			検索キーワードは強調表示する。
12	刊本	テキスト	刊本を表示する
13	標出	リンク	標出には、1行目に章、節を、2行目に標出を表示する。
			リンクをクリックするとその本文を表示する。

# 3.3.12. 系譜検索画面

系譜検索画面を表示する。



No	名前	種別	説明
1	キーワード	テキスト	検索条件となるキーワードを入力する。
		エリア	複数指定する場合、半角スペースまたは全角スペースで区切る。
			複数指定された場合は AND 検索を行う。
			異体字検索が可能であること。
			検索対象は系譜の氏名とする。
2	検索	ボタン	入力されたキーワードを条件として検索を実行する
3	クリア	ボタン	入力されたキーワードをクリアする
4	藩主・老臣 家別	リンク	藩主・老臣 家別一覧画面へ遷移する
	一覧		
5	人物一覧	リンク	人物一覧画面へ遷移する
6	一覧表示件数	ラジオ	検索結果の表示件数を指定する
		ボタン	

# 3.3.13. 系譜検索結果

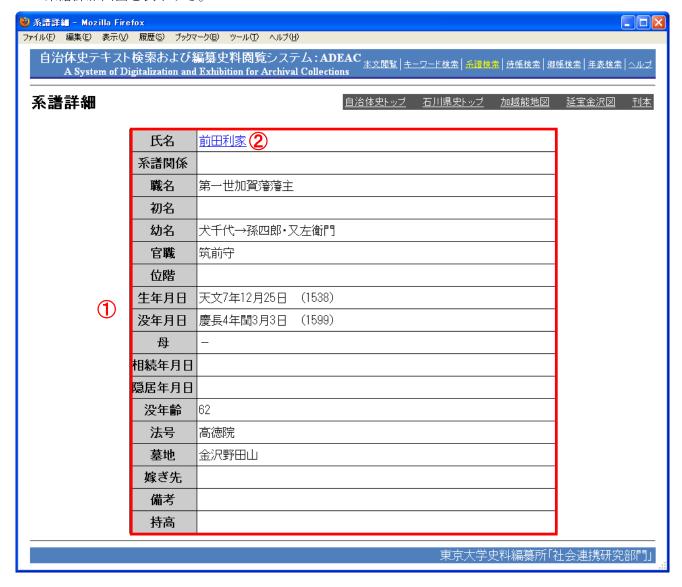
系譜検索結果を表示する。



No	名前	種別	説明
1	検索結果件数	テキスト	検索結果の全件数を表示する
2	キーワード	テキスト	検索条件のキーワードを表示する
3	先頭へ	リンク	先頭の検索結果ページを表示する。
			現在表示しているページが先頭ページの場合、表示しない。
4	前へ	リンク	前の検索結果ページを表示する。
			現在表示しているページが先頭ページ目の場合、表示しない。
5	ページ	リンク	検索結果ページを表示する
6	次へ	リンク	次の検索結果ページを表示する。
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。
7	最終へ	リンク	最後の検索結果ページを表示する。
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。
8	表示件数	テキスト	現在表示している検索結果件数と全ての検索結果件数を表示する
9	検索結果	リンク	検索結果の一覧を表示する。
		テキスト	検索結果には氏名、系譜関係、職名を表示する。
10	氏名	リンク	リンクをクリックすると系譜詳細画面へ遷移する
11	系譜関係	テキスト	系譜関係を表示する
12	職名	テキスト	職名を表示する

# 3.3.14. 系譜詳細画面

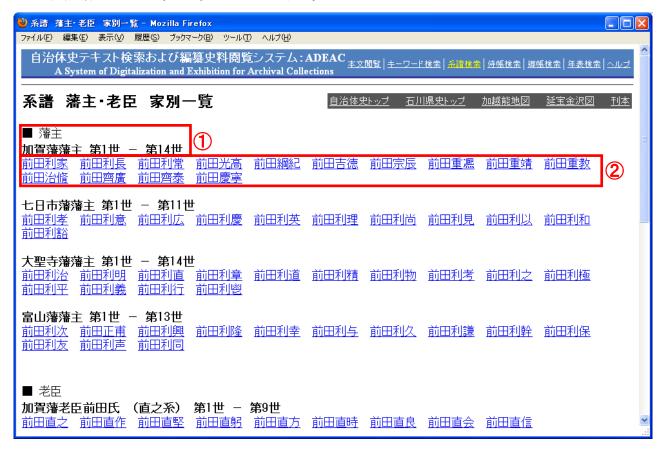
系譜詳細画面を表示する。



_	4777					
	No	名前	種別	説明		
	1	系譜項目	テキスト	系譜の各項目を表示する。		
	2	氏名	リンク	氏名のクリックで、本文検索が行われ、本文検索結果が表示され		
				る。		

# 3.3.15. 系譜 藩主・老臣 家別一覧画面

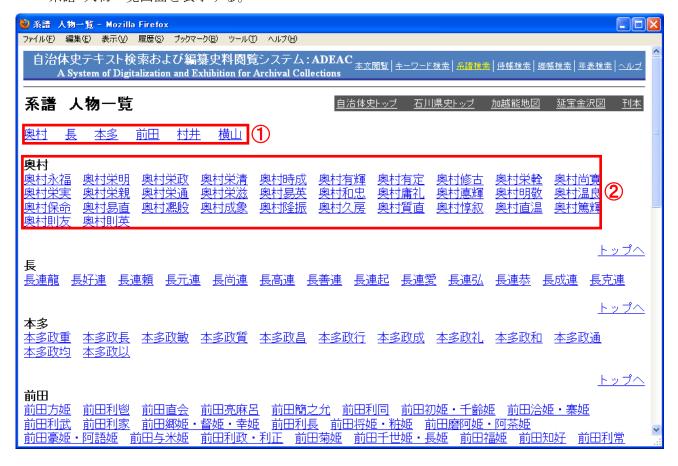
系譜 藩主・老臣 家別一覧画面を表示する。



No	名前	種別	説明
1	藩主老臣見出し		藩主見出し:藩名、老臣見出し:老臣家名を表示する。 系譜 DB 中の藩主と老臣をそれぞれリスト表示する。 藩主には藩名を見出しとして付与する。 老臣には老臣家名を見出しとして付与する。
2	氏名リスト	リンク	氏名を表示する。 ソート順序 : 系譜順(刊本掲載順)

# 3.3.16. 系譜 人物一覧画面

系譜 人物一覧画面を表示する。



No	名前	種別	説明			
1	人物姓一覧	リンク	のリンクを表示する。			
			ンクをクリックすると姓の見出し先頭に移動する。			
2	人物一覧	リンク	との読みの人物の一覧を表示する。			
			リンクのクリックで本文検索を実行する。			

# 3.3.17. 侍帳検索画面

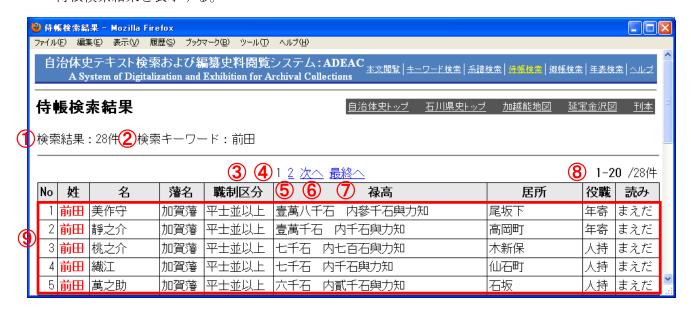
侍帳検索画面を表示する。



No	名前	種別	説明		
1	キーワード	テキスト	検索条件となるキーワードを入力する。		
		エリア	異体字検索が可能であること。		
			検索対象は侍帳の姓とする。		
2	検索	ボタン	入力されたキーワードを条件として検索を実行する		
3	クリア	ボタン	力されたキーワードをクリアする		
4	侍帳 氏名一覧	リンク	侍帳 氏名一覧 五十音順画面へ遷移する		
	五十音順				
5	侍帳 氏名一覧	リンク	侍帳 氏名一覧 刊本掲載順(藩別禄高順)画面へ遷移する		
	刊本掲載順				
6	一覧表示件数	ラジオ	検索結果の表示件数を指定する		
		ボタン			

# 3.3.18. 侍帳検索結果

侍帳検索結果を表示する。



No	名前	種別	説明		
1	検索結果件数	テキスト	<b>検索結果の全件数を表示する</b>		
2	キーワード	テキスト	検索条件のキーワードを表示する		
3	先頭へ	リンク	先頭の検索結果ページを表示する。		
			現在表示しているページが先頭ページの場合、表示しない。		
4	前へ	リンク	前の検索結果ページを表示する。		
			現在表示しているページが先頭ページの場合、表示しない。		
5	ページ	リンク	検索結果ページを表示する		
6	次へ	リンク	次の検索結果ページを表示する。		
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。		
7	最終へ	リンク	最後の検索結果ページを表示する。		
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。		
8	表示件数	テキスト	現在表示している検索結果件数と全ての検索結果件数を表示する		
9	検索結果	テキスト	検索結果を表示する。		

# 3.3.19. 侍帳 氏名一覧 五十音順画面

侍帳 氏名一覧 五十音順画面を表示する。



No	名前	種別	説明				
1	辞書リンク	リンク	「あかさたな」形式のリンクを表示する。				
			リンクをクリックすると、各索引語の見出し先頭に画面遷移す				
			る。				
2	索引語リスト	リンク	指定の読みの人物の一覧を表示する。				
			人物の一覧は五十音順に表示する。				
			リンクをクリックすると本文検索を実行する。				

# 3.3.20. 侍帳 氏名一覧 刊本掲載順(藩名禄高順)画面

侍帳 氏名一覧 刊本掲載順(藩名禄高順)画面を表示する。



No	名前	種別	説明			
1	藩名リンク	リンク	番名のリンクを表示する。			
			ンクをクリックすると、藩名の見出し先頭に画面遷移する。			
2	索引語リスト	リンク	指定の読みの人物の一覧を表示する。			
			人物の一覧は藩名および禄高順に表示する。			
			リンクをクリックすると本文検索を実行する。			

# 3.3.21. 郷帳検索画面

郷帳検索画面を表示する。



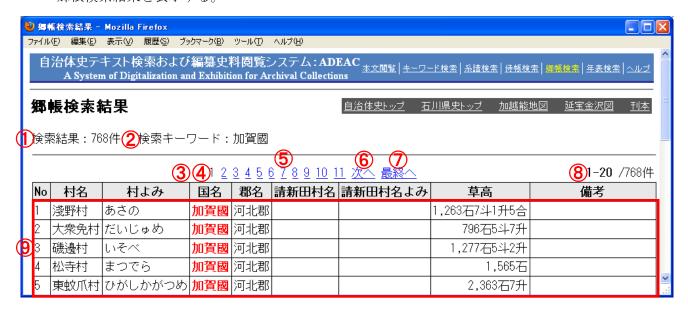
明樂飛騨守 牧野中務 柑本兵五郎

東京大学史料編纂所「社会連携研究部門」

No	名前	種別	説明		
1	キーワード	テキスト	検索条件となるキーワードを入力する。		
		エリア	異体字検索が可能であること。		
			検索対象は郷帳の国名、郡名、村名、請新田村名とする。		
2	検索	ボタン	力されたキーワードを条件として検索を実行する		
3	クリア	ボタン	力されたキーワードをクリアする		
4	郷帳 村名一覧	リンク	帳 村名一覧画面へ遷移する		
5	一覧表示件数	ラジオ	食索結果の表示件数を指定する		
		ボタン			

# 3.3.22. 郷帳検索結果

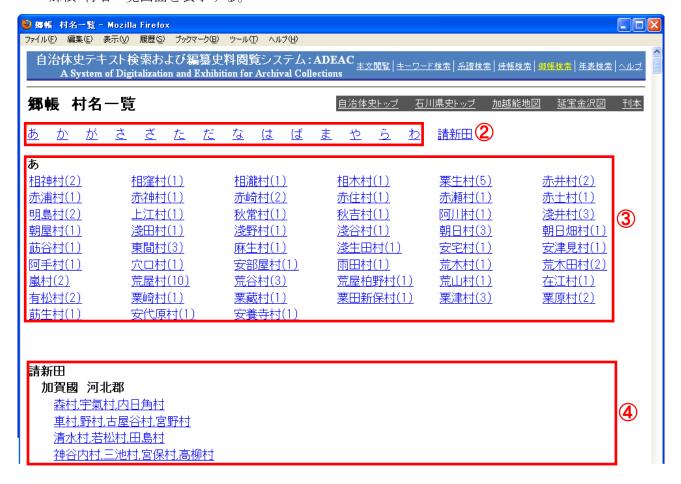
郷帳検索結果を表示する。



No	名前	種別	説明			
1	検索結果件数	テキスト	食索結果の全件数を表示する			
2	キーワード	テキスト	食索条件のキーワードを表示する			
3	先頭へ	リンク	先頭の検索結果ページを表示する。			
			現在表示しているページが先頭ページの場合、表示しない。			
4	前へ	リンク	前の検索結果ページを表示する。			
			現在表示しているページが先頭ページの場合、表示しない。			
5	ページ	リンク	検索結果ページを表示する			
6	次へ	リンク	次の検索結果ページを表示する。			
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。			
7	最終へ	リンク	最後の検索結果ページを表示する。			
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。			
8	表示件数	テキスト	現在表示している検索結果件数と全ての検索結果件数を表示する			
9	検索結果	テキスト	食索結果を表示する。			
			一覧は郷帳 ID の昇順に表示する。			

# 3.3.23. 郷帳 村名一覧画面

郷帳 村名一覧画面を表示する。



	日公元 (1857年) (1857年)					
No	名前	種別	説明			
1	辞書リンク	リンク	「あかさたな」形式のリンクを表示する。			
			リンクをクリックすると、各索引語の見出し先頭に画面遷移す			
			る。			
2	請新田リンク	リンク	請新田のリンクを表示する。			
			リンクをクリックすると請新田の見出し先頭に画面遷移する。			
3	村名リスト	リンク	村名の一覧を表示する。			
			村名末尾に郷帳検索結果の件数を表示する。			
			リンクをクリックすると郷帳検索を実行する。			
4	請新田リスト	リンク	情新田村名の一覧を表示する。			
			リンクをクリックすると郷帳検索を実行する。			

# 3.3.24. 年表検索画面

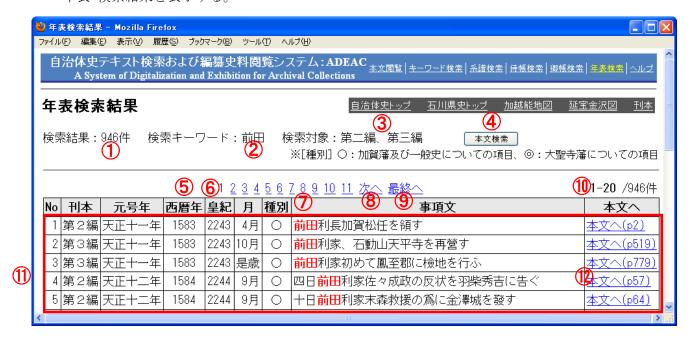
年表検索画面を表示する。



No	名前	種別	説明			
1	キーワード	テキスト	検索条件となるキーワードを入力する。			
		エリア	複数指定する場合、半角スペースまたは全角スペースで区切る。			
			複数指定された場合は AND 検索を行う。			
			異体字検索が可能であること。			
			検索対象は年表の事項文とする。			
2	検索	ボタン	力されたキーワードを条件として検索を実行する			
3	クリア	ボタン	力されたキーワードをクリアする			
4	開始年、終了年	リンク	索の開始年、終了年(西暦)を指定する			
5	検索対象	チェック	京対象を指定する。 ・			
		ボックス	旨定対象は第2編と第3編。			
			デフォルトでは両方チェックされている。			
6	一覧表示件数	ラジオ	食索結果の表示件数を指定する			
		ボタン				

# 3.3.25. 年表検索結果

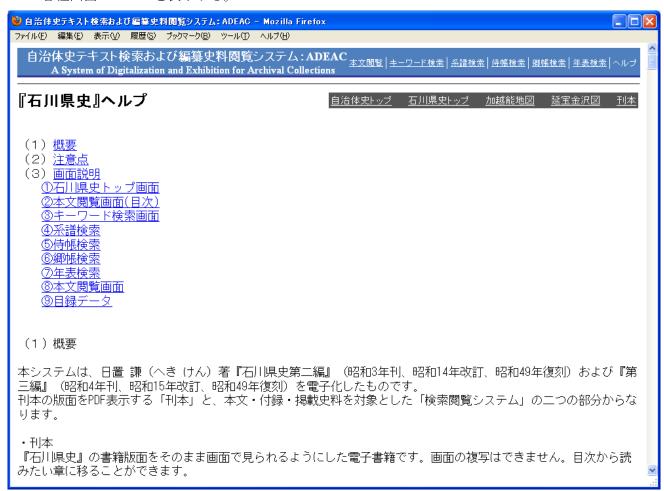
年表 検索結果を表示する。



No	名前	種別	説明		
1	検索結果件数	テキスト	検索結果の全件数を表示する		
2	キーワード	テキスト	<b>検索条件のキーワードを表示する</b>		
3	検索対象	テキスト	検索対象を表示する		
4	本文検索	ボタン	検索語のキーワードで本文検索を行う		
5	先頭へ	リンク	先頭の検索結果ページを表示する。		
			現在表示しているページが先頭ページの場合、表示しない。		
6	前へ	リンク	前の検索結果ページを表示する。		
			現在表示しているページが先頭ページの場合、表示しない。		
7	ページ	リンク	検索結果ページを表示する		
8	次へ	リンク	次の検索結果ページを表示する。		
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。		
9	最終へ	リンク	最後の検索結果ページを表示する。		
			現在表示しているページが最終ページの場合、表示しない。		
10	表示件数	テキスト	現在表示している検索結果件数と全ての検索結果件数を表示する		
11	検索結果	テキスト	検索結果を表示する。		
			一覧は以下の順に表示する。		
			第1ソートキー:西暦年		
			第2ソートキー:月		
			第3ソートキー:刊		
			事項文内の検索キーワードは赤で表示する。		
12	本文へ	リンク	標出の本文閲覧画面へ遷移する		

# 3.3.26. ヘルプ

各種画面のヘルプを表示する。



各表示項目は以下のとおり。

. –		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0	
	No	名前	種別	説明
	1	ヘルプ本文	テキスト	各種画面のヘルプ内容を表示する

一以下余白一

# 3.「自治体史」のフルテキスト化

# 3.1 デジタル化要求仕様

東京大学史料編纂所

#### 「石川県史第三編」のデジタル化について

# 1. 原稿形態

- ・刊本 (A5版) を原稿とします。
- ・刊本は支給することができないため、古書店にて調達していただきます。

# 2. 作成データの形式

(1) テキストデータ

以下のテキストデータはXML形式とします。

- 1. 巻頭部
- 2. 目次
- 3. 通史本文

以下のテキストデータは CSV 形式とします。

- 4. 附録第一 郷帳
- 5. 附録第二 年表
- 6. 附録第三 索引
- (2) 図版画像

図版全点 (102点) を JPEG 形式でスキャンしてください。(300dpi、グレースケール)

(3) 刊本版面

全頁をスキャンし PDF 形式で作成してください。

(4) デジタルブックデータ

刊本版面を PDF 化したものからデジタルブックデータを作成してください。

- 3. 文字の扱い
  - ・文字コード体系は、unicode (UTF-8) とします。
  - ・使用文字はunicode CJK の範囲とします。
  - ・上記範囲に存在しない外字は、ゲタ「〓」とします。
  - ・外字に関しては、該当文字を刊本コピーし、出現頁を記載してリスト化してください。
  - ・印刷のかすれなどにより判読不能な文字については、ゲタ「=」をその文字数分入力してください。

#### 4. 入力仕様

(1) 目次

以下の構造でXML化してください。

|-編

L章

上節

山頁

#### (2) 通史本文、巻頭部

①文書構造は以下のとおりとします。

```
    ⊢通史本文
    └刊本タイトル
    └編見出し
    □章見出し
    □節見出し
    □標出
    □本文
    □翻刻文
    □史料名
    □出典名
```

# ②以下の構造は、XML タグ化してください。

- 表の扱い
- 行内2行
- 行間補記
- ・ 漢文の返り点等
- 図版画像
- 図版キャプション

# (3) 郷帳、年表、索引

(別添) 頁構成の要素毎に CSV 形式で入力してください。

#### 5. 入力後のデータ検査

以下の内容について、検査を実施し不正データは修正してください。

- ・目次、年表、索引の各頁に記載されている頁数と本文とのリンク関係が正しいこと
- ・解説、翻刻、史料名、出典名が正しいこと。(刊本と照合する) 通史本文全頁に対し、以下のタグ付けルールにてタグ付けされていることを、刊本と照合し、間違い は正すこととする。

(タグ付けルール)

- ・1字下げ箇所が「翻刻」
- ・それ以外が「解説」
- ・翻刻は、「○」毎に1件として識別する。
- ・翻刻の中の〔~〕を出典名とする。
- ・翻刻の中の冒頭のタイトルを史料名とする。

# 6. 納品物

納品物は以下のとおりとします。

- ・データ構造仕様書(XML データおよび CSV データ)
- XML DTD
- ・テキストデータ
- ・外字リスト
- 画像データ
- ・PDF データ
- ・デジタルブックデータ

# (別添) 頁構成

力小小小	貝構成				
SEQ	要素	文字数	頁数	テキス ト入力	版面 PDF
1	巻頭部(復刊のことば、緒言など)	27字×13行	27 頁	0	0
	(1)復刊のことば				
	(2)再刊の辞				
	(3)序				
	(4)緒言				
2	目次	18字×15行	9頁	0	0
	(1)見出し				
	(2)本文頁				
3	通史本文	48 字×18 行+標出 10 字	1056 頁	0	0
	(1)標出(横罫の上部)				
	(2)本文				
	(3) 翻刻文(字下げの部分)				
	I . 史料名				
	Ⅱ. 翻刻本文				
	Ⅲ. 出典名				
	(4)写真(=図版画像)				
	I . 画像				
	Ⅱ. キャプション				
4	附録第一 郷帳	17字×23行×2段	36 頁	0	0
	(1)国名				
	(2)郡名				
	(3) 草高				
	(4)村名				
	(5) 古者				
5	附録第二 年表	25 字×22 行×2 段	31 頁	0	0
	(1)元号年				
	(2)皇紀				
	(3)月				
	(4)○ (一般史・加賀藩史) /◎ (大聖寺				
	藩史)				
	(5)事項				
	(6)本文頁				
	※(西暦、年号、干支、天皇、将軍、藩主				
	を編纂所にて追加する)				
6	附録第三 索引	14字×23行×4段	21 頁	0	0
	(1)カタカナ見出し(2文字)				
	(2)索引語				
	(3)本文頁				
7	追考及び訂正、あとがき、奥付		4頁	X	0
	(合計)		1184 頁		
			•		

以上

# 3.2 XML 入力仕様書

# 「石川県史第二編」 XML 詳細仕様書

第1版

2011年3月10日

大日本印刷株式会社 C&I事業部 BPR本部 e-ドキュメント企画開発室

# [変更履歴]

日付	区分	版	追加変更内容・理由/変更依頼部署など	ページ
2011年3月10日	新規	第1版	新規発行	全17頁

# 目次

1.	文書形式	51
	1) XML 文書型	51
	2) エンコーディング	
2.	全体構造	52
	1) ROOT	
	2) 刊本タイトル	
	3) 通史前書き	
	4) 通史本文	52
3.	ブロック要素	53
	1) 編	53
	2) 編見出し	53
	3) 章	53
	4) 章見出し	53
	5) 節	54
	6) 節見出し	54
	7) 標出	54
	8) 本文	54
	9) 翻訳文	54
	10) P(段落)	55
	11) 見出し	55
	12) 本文頁	55
	13) 箇条書き項目	56
	14) 表組み	57
4.	インライン要素	59
	1) 割注	59
	2) 補記	
	3) ルビ	
	4) 漢文関連	
	5) 外字	
	6) 数式	
	7) 文字装飾関連※	
	8) 改行	
	9) 冊子頁情報	
	10) 目次要素	
	11) 図版	
	12) ツリー構造	

# 1. 文書形式

# 1) XML 文書型

形式は XML1.0 の検証済み文書ファイルとし、文書型は DTD により定義する。

DTD ファイル名: ishikawa\_siryo.dtd

<!DOCTYPE root SYSTEM " ishikawa\_siryo.dtd" []>

# 2) エンコーディング

文書ファイルに使用される文字コードのエンコーディングは UTF-8 する。

<?XML version="1.0" encoding="UTF-8" ?>

# 2.全体構造

文書のトップレベルでの文書構造は、下記のように構成される。

#### 1) root

ルート要素。全体をまとめる唯一の要素。

# 構成要素:

刊本タイトル要素1個、通史前書き要素1個、通史本文1個をこの順で含む。

# 2) 刊本タイトル

書名。省略不可。

構成要素:任意の文字列

#### 3) 通史前書き

通史の前書き。前書き全体をまとめる唯一の要素。

# 構成要素:

編要素1個を含む。

# 4) 通史本文

通史の本編。本編全体をまとめる唯一の要素。

# 構成要素:

編要素1個を含む。

# 3. ブロック要素

#### 1) 編

文章の編ひと区切りのまとまった論理構造単位を表す要素。本編以外に前書き・目次を含む。

#### 構成要素:

「編見出し要素1個、本文要素0個以上の繰り返し、翻訳文要素0個以上の繰り返し、章要素の0個以上の繰り返し」

共通の属性:type (省略可)

type 属性でブロックパターンを識別:

前書部 => "front"

本編部 => "body" ※省略した場合は『本編部』と解釈する。

#### 2) 編見出し

編のタイトル。前書きの『復刻の言葉』『再刊の辭』『序』『緒言』及び目次の見出しを含む 構成要素:

「任意の文字列かインライン要素」の0個以上の繰り返し。

#### 3) 章

文章の章ひと区切りのまとまった論理構造単位を表す要素。本編以外に前書き・目次を含む。

#### 構成要素:

「章見出し要素1個、本文要素0個以上の繰り返し、翻訳文要素0個以上の繰り返し、節要素の0個以上の繰り返し、標出0個以上の繰り返し」

共通の属性:type (省略可)

type 属性でブロックパターンを識別:

前書(本文)部 => "front" 前書(目次)部 => "index"

本編(本文)部 => "body" ※省略した場合は『本編(本文)部』と解釈する。

#### 4) 章見出し

章のタイトル。目次の見出しを含む。

#### 構成要素:

「任意の文字列かインライン要素」の0個以上の繰り返し。

#### 5) 節

文章の節ひと区切りのまとまった論理構造単位を表す要素。

#### 構成要素:

「節見出し要素1個、本文要素0個以上の繰り返し、翻訳文要素0個以上の繰り返し、標出0個以上の繰り返し」

共通の属性:type (省略可)

type 属性でブロックパターンを識別:

#### 6) 節見出し

節のタイトル。

#### 構成要素:

「任意の文字列かインライン要素」の0個以上の繰り返し。

# 7) 標出

冊子欄外にある段落見出しを表す要素。

#### 構成要素:

「任意の文字列かインライン要素」の0個以上の繰り返し。

# 8) 本文

文章の複数段落ひと区切りのまとまった論理構造単位を表す要素。行頭の字下げなし。

# 構成要素:

「p要素」1個以上の繰り返し。」

#### 9) 翻訳文

文章の複数段落ひと区切りのまとまった論理構造単位を表す要素。本文より1文字分字下げされた段落。

#### 構成要素:

史科名要素 0 個または 1 個、「p 要素」 1 個以上、出典名 0 個または 1 個、この順で含む。

# 10) p (段落)

パラグラフ(段落)。文章は必ずパラグラフにまとめて、p要素として表現する。

#### 構成要素:

「任意の文字列か、箇条書き要素(ul,ol)、hyou要素、見出し要素、本文頁要素、インライン要素」※の0個以上の繰り返し。目次の「見出し要素、本文頁要素」も含む。

共通の属性:xml:space 空白文字の省略制御

※見出し要素、本文頁要素は、前書きの目次部のみ使用

# 11) 見出し

前書きの目次部にある目次の見出し。

# 構成要素:

「任意の文字列かインライン要素」の0個以上の繰り返し。

# 12) 本文頁

前書きの目次部にある頁情報。

# 構成要素:

「任意の文字列」

# 13) 箇条書き項目

ul ol li: ※記載方法はHTML と同じ

箇条書き項目。

# 構成要素:

「任意の文字列かインライン要素」の0個以上の繰り返し。

共通の属性:xml:space 空白文字の省略制御

dir: 反転→縦組みの組版の場合、90 度反転した横書き方向で記載する場合 (省略可)

# 構成要素:

「任意の文字列かインライン要素」の0個以上の繰り返し。

<u1>

<1i>· · · </1i>

〈li dir=" 反転"〉 ・・・〈/li〉

#### 14) 表組み

#### hyou

表組みを表す要素。

構成要素:

「div」の1個以上の繰り返し。

共通の属性:

page 表がある頁(省略可)

#### div 要素

表組みの各行単位をいくつかのブロックでまとめる要素。

構成要素:

「data 要素」の1個以上の繰り返し。

# data 要素

表組みの1行単位を表す要素。

構成要素:

「項目要素」の0個以上の繰り返し。

# 項目要素

構成要素:

項目要素の0個以上、または「任意の文字列、またはインライン要素」の0個以上の繰り返し。 共通の属性:

no 表の項目順(必須:基本的に1,2,3,4・・・・・ no=1の下階層には11,12,13・・・・・

但し項目順にソートできれば下層でも no は自由に設定可

能で1,2,3,4・・・・でもよい)

name 表の項目名(省略可:省略した場合は項目名がないと解釈する)

属性を追加することで項目内容を表現することも可能:

例) 属性 unit を追加し単位を表現

#### 例) 縦組みの表の場合

	2	1	項 目 A	
<u></u>	(カ カ)	Ê	項 目 B	
以 下 中 略	( <del>+</del>	₹	c 項 1 <sub>目</sub>	項 目 C
	<u>(2</u>	( <del>)</del>	c 項 2 <sub>目</sub>	
	( <del>/</del> )		項 目 D	
	(п)	( <del>/</del> x)		項 目 E

```
<hyou page="xxx">
                <title>XXXXX 表</title>
                                <項目 no="1" name="項目A">1</項目>
<項目 no="2" name="項目B"> (ア) </項目>
<項目 no="3" name="項目C">
<項目 no="31" name="項目C 1"> (イ) </項目>
<項目 no="32" name="項目C 2" unit=" mm" > (ウ) </項目>
                                </項目>
                                 〈項目 no="4" name="項目D"></項目>
〈項目 no="5" name="項目E"> (オ) 〈/項目〉
                </div>
                <div>
                                <項目 no="1" name="項目A">2</項目>
<項目 no="2" name="項目B"> (カ) </項目>
<項目 no="3" name="項目C">
                                     〈項目 no="31" name="項目 c 1"> (キ) 〈/項目〉
〈項目 no="32" name="項目 c 2" unit=" mm" > (ク) 〈/項目〉
                                  </項目>
                                 〈項目 no="4" name="項目D"〉(ケ)〈/項目〉
〈項目 no="5" name="項目E"〉(コ)〈/項目〉
                </div>
                <div>
                                                         ~ (以下中略)
              </div>
</hyou>
```

# 4. インライン要素

通常の文字列の中で使用される要素。

#### 1) 割注

#### mlg

割注。通常の組版割注に加え行内2行は割注で表現する。

# 構成要素:

- rb 要素、rt 要素の順で含む。このタグ要素で分割前後を区切る。
- rb 要素、rt 要素はルビの項を参照

#### 例:

```
(天正十二年)

↓

⟨mlg⟩

⟨rb⟩ (天正十二年) ⟨/rb⟩

⟨rt>九月十四日⟨/rt⟩

⟨/mlg⟩
```

# 2) 補記

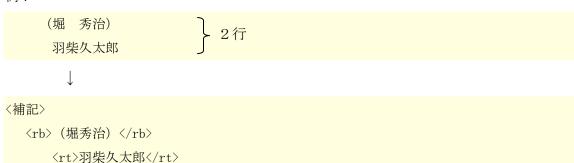
補足記述。通常の組版では2行で記述。

#### 構成要素:

- rb 要素、rt 要素の順で含む。このタグ要素で分割前後を区切る。
- rb 要素、rt 要素はルビの項を参照

#### 例:

</補記>



# 3) ルビ

#### ruby

ルビ付きの文字列。

#### 構成要素:

rb 要素、rt 要素をこの順で含む。

#### rb

ルビの付けられるベースの文字列。または割注の分割範囲指定に使用。

mlg 要素、ruby 要素の中にのみ使用できる

#### 構成要素:

「任意の文字列、<外字>要素のどれか」の0個以上の繰り返し。

#### rt

ルビの付けられるベースの文字列。または割注の分割範囲指定に使用。mlg 要素、ruby 要素の中にのみ使用できる

# 構成要素:

「任意の文字列、<外字>要素のどれか」の0個以上の繰り返し。

#### rt2

左側へのルビに付けられるベースの文字列。または割注の分割範囲指定に使用。mlg要素、ruby要素の中にのみ使用できる

# 構成要素:

「任意の文字列、<外字>要素のどれか」の0個以上の繰り返し。。

# 例:

<ruby><rb>株式会社</rb><rt>かぶしきがいしゃ</rt></ruby>

#### 4) 漢文関連

# 漢文

漢文のレ点などの制御文字列。

#### 構成要素:

「任意の文字列、<外字>要素のどれか」の0個以上の繰り返し。

#### 5) 外字

外字(ユニコード CJK 外) は全て "="を入力するため、特定の要素はない。

#### 6) 数式

ルート・分数※を表現する制御文字列。

構成要素:「任意の文字列、外字要素、数式要素、上付き、下付き、イタリック」の0個以上の繰り返し。分数の除算記号は"/"、ルートは" $\sqrt$ "とする。

例:1/2

〈数式 type="fraction">1/2⟨/数式⟩

例:√2

〈数式 type=" square\_root" >√2</数式>

※分数及びルート以外の数式は現バージョンでは規定しない。

# 7) 文字装飾関連※

#### 圏点

圏点を表す要素。

#### 構成要素:

圏点を装飾する「任意の文字列、または他のインライン要素」の0個以上の繰り返し。

#### 上線

上線を表す要素。

# 構成要素:

下線を装飾する「任意の文字列、または他のインライン要素」の0個以上の繰り返し。

# 下線

下線を表す要素。

#### 構成要素:

下線を装飾する「任意の文字列、または他のインライン要素」の0個以上の繰り返し。

#### 下線2

2重下線を表す要素。

#### 構成要素:

下線を装飾する「任意の文字列、または他のインライン要素」の0個以上の繰り返し。

#### sup sub

sup:上付き (Superscript)、及びsub:下付き (Subscript) を表す要素。

#### 構成要素:

上付き、下付きを装飾する「任意の文字列、または他のインライン要素」の0個以上の繰り返し。

#### i (イタリック)

イタリックの文字修飾を表す要素。

#### 構成要素:

イタリックを装飾する「任意の文字列、または他のインライン要素」の0個以上の繰り返し。

#### s (フォントサイズの縮小した文字)

縮小したフォントサイズの修飾を表す要素。

#### 構成要素:

縮小したフォントサイズを修飾する「任意の文字列、または他のインライン要素」の0個以上の繰り返し。

# 8) 改行

br

改行を表す要素。

構成要素:

なし。空要素。

# 9) 冊子頁情報

# 頁(索引にて定義した頁タグを利用する)

冊子の頁を表す要素。

構成要素:

なし。空要素。

共通の属性:page 頁情報(必須)

例

も刀〈頁 page="100"/>も不〈漢文〉レ〈/漢文〉入鉢・・・・

# 10) 目次要素

# 見出し

編章節を含む目次の見出し

構成要素:「任意の文字列」

#### 本頁

目次の見出しの頁

構成要素:「任意の文字列」

#### 11) 図版

#### 図

画像データをあらわす要素。親タグはとする

#### 構成要素:

「任意の文字列、または他のインライン要素」の0個以上の繰り返し。

#### 共通の属性

href:参照先画像ファイル名 ※必須

x:画像横サイズ (mm、cm等) ※省略可

y:画像縦サイズ (mm、cm等) ※省略可

w:画像領域の幅(mm、cm等)※省略可 h:画像領域の高さ (mm、cm等) ※省略可

align:表示位置(top(ディフォルト)/center/bottom) ※省略可

caption:キャプション ※省略可

#### 【図版参照箇所がある場合】

例)

、・・とあり、<図 href="0010a.jpg">図のような写生図</図>があり、極光は栄を 以って描かれている。

#### 【図版参照箇所がない場合(段落が変わる場合)】

例)

〈p〉この様に何故違ふか。これは視差の影響のためである。陰暦では傾斜しが小さくなると食限界が広くなる。陽暦の時はが大きくなると限界が狭くなる。所が実際に 計算してみると其の違ひは極めて小である。〈/P〉

<図 href="0010a.jpg"></図>

ゆえに余り大きな違ひはない筈である。これは・・・・・・・・大きく取 つたのである。

#### 【図版参照箇所がない場合(文中の場合)】

例)

この様に何故違ふか。これは視差の影響のためである。陰暦では傾斜しが小さくなると食限界が広くなる。陽暦の時はが大きくなると限界が狭くなる。所が実際に 計算してみると其の違ひは極めて小である。〈図 href="0010a.jpg"></図>ゆえに余り大きな違ひはない筈である。これは・・・・・・・大きく取つたのであ る。

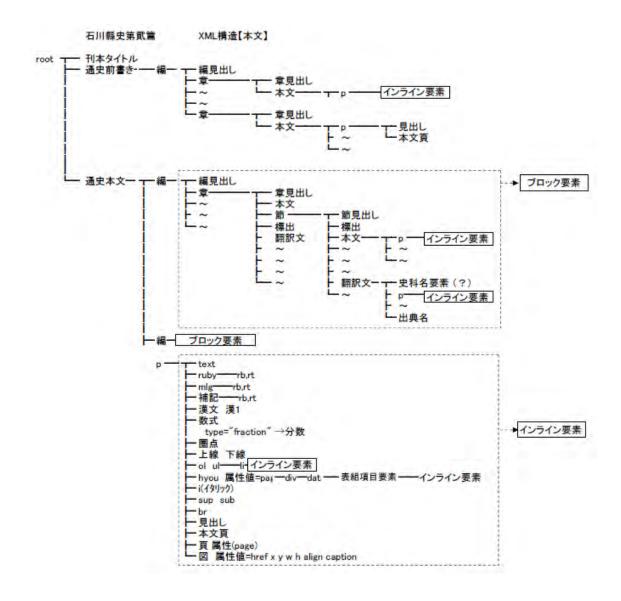
#### 【図版参照箇所がない+キャプションがある場合】

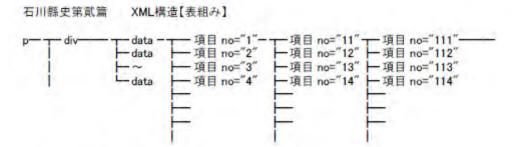
例)

この様に何故違ふか。これは視差の影響のためである。陰暦では傾斜しが小さくなると食限界が広くなる。陽暦の時はが大きくなると限界が狭くなる。所が実際に 計算してみると其の違ひは極めて小である。〈/P〉

つたのである。

#### 12) ツリー構造





属性値=name:表組みの項目名

属性値=no :表組みの項目順(※同一階層でソート順になれば可)

# 3.3 年表事項文対応の索引語抽出

(2011.3 梅田作成)

# 『石川県史第二編』年表部 索引語マーキング仕様

・人名:固有の人名を基本とする。戒名も含む。 前田利長夫人玉泉院など、「~夫人」「~の女」も人名とみなす。

・役職:身分名称を基本とし、職業名も対象とする。個人に付くものとする。

職名:城主、白山長吏、幕吏、人持組、老臣

官位:正四位上

賜姓:豊臣氏、松平氏

(例) 越中阿尾城主 菊池武勝、加賀藩在京の吏、

・地名:国名、河川名、山名など地理上の位置・空間を示す語。(「どこで」にあたる情報)

都市・地域呼称:京師、禁闕

城・寺社など施設名:金沢城、本願寺

\*「幕府領」などあいまいな範囲についても用いる

\*「白山」「本願寺」等は、訴訟・交渉などの主体、僧侶の所属として(地理的な場所とはかかわりなく)登場する場合には組織名とする。地理上の地点、造営・寄進の対象、具体的な建物・場所と関連する場合には地名とする。

・組織名:歴史的事象の主体となる組織・団体(ヒト、モノ)などを対象とする。

機関名・団体名:大聖寺藩、幕府、水戸浪士、伴天連、幕府、朝廷、諸藩

王朝名:明

船名:李白里丸

・事象:出来事・歴史的事件など、事象の述語となる以下の「コト」を対象とする。

書名·文書名: 謠要律

事件:關東征伐 征明

法令・施策・制度:刀劍沒收、媾和、切腹、生胴

風俗・行事:演能、盆正月

\*「禁闕」は原則的に空間名であるが、「禁闕(の)守護」などの場合には、事象を表す語の一部とみなす。「征長」「長州征伐」なども同様とする。

• 全体的方針

\* 「の」格を含む語は一語として扱う。(例) 「A の B」

#### 4.1 デジタル撮影要求仕様

# 史料のデジタル撮影仕様書

東京大学史料編纂所「社会連携研究部門」

2011. 2. 1

# 1. デジタル撮影の対象

#### (1) 対象史料

石川県立図書館 所蔵『森田文庫』『富田文庫』の史料 13 点(約 3530 コマ (概算コマ数))、ただし、箱、袋等も撮影する

史料形態:冊子

# (2) 撮影場所および開始時期

撮影場所:石川県立図書館 館内 (石川県金沢市)

撮影開始時期:2011.4.1以降

## (3)撮影に当たっての注意点

- ・ 過去に史料の取り扱い経験が豊富にある者、または取り扱いについて事前に十分な教育を受け た者が、慎重に史料を取り扱うこと。
- ・ 撮影前に史料の大きさ、史料中の最小文字、破損・劣化の状態、付箋・掛紙などの有無、紙背 の有無などを調べること。
- ・ 糸綴じが破断している史料については、発注者に報告し、対応指示を受けること。
- ・ 史料の破損・劣化が著しい、または取り扱うことにより破損の恐れのあるなどの理由により撮 影が困難と判断される史料については発注者に報告し、入力の可否を仰ぐこと。

#### **2.** デジタル撮影の方式

#### (1) 撮影装置

- 撮影装置と史料の接触を防ぐためにフェースアップスキャナを使うこと。
- ・ フェースアップスキャナのレンズは、スキャナの性能に基づき史料撮影向けに考えられた専用 レンズであること。

フェースアップスキャナの例としては、独 Imageware 社が開発・販売しているブックスキャナ BookEye シリーズ、コンテンツ社が国内販売している Contents Maker シリーズが該当する。

# (2) 撮影条件

・ 史料原寸に対して、400dpiの解像度で撮影すること。

- ・ 史料を撮影台に水平に置き、撮影装置のレンズ面との平行を保って入力すること。また、史料 保護のために、史料と撮影装置の間には一定の距離を開けて接触させないこと。
- 撮影する前に史料の皺、折り目などは可能な限り取り除き、情報の欠損を極力なくすこと。
- ・ 発注者と協議し、問題がなければ画像データの平面精度を高めるために軽量のアクリル板また はガラス板を史料に載せて撮影すること。ただし、岩絵具や金、銀、顔料等を使った史料につ いては、その上にアクリル板やガラス板を置いてはならない。
- ・ アクリル板またはガラス板を載せられない史料について、平面精度を高めるためにガラス棒などのウェイトを載せて史料を伸ばす場合は、事前に発注者の許可を得ること。
- ・ 光源は、高熱や紫外線が極力発生しないものを利用すること。
- ・ 史料と一緒に X-Rite 社のカラーチェッカーを入力すること。ただし、冊子については表紙のみカラーチェッカーを入力すればよい。
- ・ 同一史料を複数カットで撮影する間は、カメラの設定、カメラと史料との距離、光源などの撮 影条件は同じであること。
- ・ 撮影機器は、撮影環境の違いに関わらず一定の品質で画像が作成されるように調整すること。 また ICC プロファイルを作成し、マスター画像に埋め込んだ後に Adobe RGB に変換すること。
- ・ 史料と一緒にスケールを入力すること。同一史料を複数カットで撮影する場合も、すべてのカットにスケールを入力すること。またスケールは、入力全体を通して極力一定の位置や向きで置くこと。
- ・ 史料名、史料番号、所蔵機関名など、史料と一緒に入力する写し込み物については、発注者の 指示に従うこと。
- ・ 発注者から特に指示のない限り、間紙は使用しないこと。
- ・ 入力の際に使用するバック紙の色はグレーとする。色や紙質については事前に発注者の確認を 取ること。

#### 3. 作成する画像データ

# <u>(1) マスター画像データ</u>

- ファイル形式は、24 ビットフルカラー、非圧縮 TIFF とすること。
- ・ 史料を 90 度横向きに撮影したり 180 度回転させて撮影した場合は、史料の天地が正しく定まるように画像を回転させること。また、一見して史料の天地が明らかでない場合は、発注者に問い合わせて天地を定めること。
- ・ 画像内の余白は画像全体のおよそ 10%以下とし、マスター画像全体を通して一定の範囲に保つこと。また、冊子については1 史料内のマスター画像サイズは統一すること。
- ・ 分割撮影された画像は手動で幾何補正を行い、つなぎ目が分からないような方法で1つの画像 に統合すること。ただし、統合後に画像長辺が30,000 ピクセルを越える場合は、統合後の画像 を複数画像に分割すること。

・ 発注者の指示に基づき画像名を付与すること。格納するフォルダ構造なども指示に従うこと。

# (2) 簡易画像データ

- ・ マスター画像を 1,000 万画素程度にリサイズした JPEG ファイルとすること。 圧縮率は 1/10 程度で、画像の劣化や JPEG のノイズが目立たないレベルとすること。
- ・ 発注者の指示に基づき画像名を付与すること。格納するフォルダ構造なども指示に従うこと。

#### (3) 所蔵用画像データ

・ 添付資料1の仕様に従うこと。

# (4) メタデータの作成

・ 作成したマスター画像に対して、指定された項目を持つメタデータを作成すること。 メタデータは csv 形式のファイルに保存すること。またその際には、発注者との協議または発 注者の指示に基づき作成されたテンプレートファイルを利用すること。

メタデータ一覧:添付資料2

- ・ 文字コードは UTF-8 を使用すること。
- ・ メタデータのファイル名は、マスター画像のファイル名と対応付けされたものであること。

# 4. その他

- ・ 見積書の提出と同時に、撮影から納品までの作業工程の概要を示し、各工程の日数を示す資料を添付すること。
- ・ 提出先は以下とする。2011.2.21(月)の消印まで有効

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学東京大学史料編纂所「社会連携研究部門」 石川徹也

# 4.2 デジタル画像データのメタデータ

(コンテンツ株式会社作成)

# 画像メタデータ

(1) 画像情報: 画像ファイルに関する基本的な情報を記述

(2)色情報:色に関する情報を記述(3)撮影情報:撮影に関する情報を記述(4)作成情報:作成に関する情報を記述(5)保存情報:保存に関する情報を記述

(6)権利情報: 利用(権利情報)に関する情報を記述

(7)閲覧画像情報閲覧画像に関する情報を記述

番号	分類	項目	データタイプ	説明	スキャナカメラ (データ記述 例)
1		画像ID	整数	画像に対応付けられたユニークな番号	3
2		ファイル名	文字列	拡張子を含めたファイル名	edo_kanei_ezu tif
3		大きさ(縦)	整数	縦方向のピクセル数	10,000
4		大きさ(横)	整数	横方向のピクセル数	10,000
5		サイズ	整数	データ容量(単位はbyte)	300,048,616
6		解像度	整数	史料原寸に対する解像度(単位はdpi)	300
7		色深度	文字列	白黒2値、グレースケール、24bitカラー、48bitカラーなど	24bitカラー
8		ファイル形式	文字列	TIFF、JPEGなどのファイル形式名	TIFF
9		作成日	日付	作成した日付	2010.2.21
				埋め込まれたカラープロファイル名 (sRGB、Adobe	2010-edo-
10		カラープロファイル名	文字列	RGB、独自のプロファイルなど)	ezu.icc
11		RGB値(No. 1)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 1 dark skinのRGB値	735244
12		RGB値(No. 2)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 2 light skinのRGB値	C29682
13		RGB値(No. 3)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 3 blue skyのRGB値	627A9D
14		RGB値(No. 4)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 4 foliageのRGB値	576C43
15		RGB値(No. 5)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 5 blue flowerのRGB 値	8580B1
16		RGB値(No. 6)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 6 bluish greenのRGB 値	67BDAA
17		RGB値(No. 7)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 7 orangeのRGB値	D67E2C
18		RGB値(No. 8)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 8 purplish blueのRGB値	505BA6
19		RGB値(No. 9)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 9 moderate redの RGB値	C15A63
20		RGB値(No. 10)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 10 purpleのRGB値	5E3C6C
21	色情報	RGB値(No. 11)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 11 yellow greenの RGB値	9DBC40
22		RGB値(No. 12)	数値(16進数)	tIFF、JPEGなどのファイル形式名	E0A32E
23		RGB値(No. 13)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 13 blueのRGB値	383D96
24		RGB値(No. 14)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 14 greenのRGB値	469049
25		RGB値(No. 15)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 15 redのRGB値	AF363C
26		RGB値(No. 16)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 16 yellowのRGB値	E7C71F
27		RGB値(No. 17)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 17 magentaのRGB値	BB5695
28		RGB値(No. 18)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 18 cyanのRGB値	0885A1
29		RGB値(No. 19)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 19 whiteのRGB値	F3F3F2
30		RGB値(No. 20)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 20 neutral 8のRGB値	C8C8C8
31		RGB値(No. 21)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 21 neutral 6.5のRGB値	A0A0A0
32		RGB値(No. 22)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 22 neutral 5のRGB値	7A7A79
33		RGB値(No. 23)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 23 neutral 3.5のRGB 値	555555
34		RGB値(No. 24)	数値(16進数)	撮影したマクベスチャートNo. 24 blackのRGB値	343434
35		画像入力機器のメーカ名	文字列	画像入力機器のメーカ名	Pentacon
36		画像入力機器のモデ ル名	文字列	画像入力機器のモデル名	Contents Maker 6000S
37		シャッタースピード	数値	シャッタースピード	
38		露出プログラム	文字列	撮影時にカメラが使用した露出プログラム(マニュアル、ノーマルプログラム、絞り優先、シャッター優先など)	

		Prisonance (1971)	***************************************		
				レンズのF値(レンズの焦点距離を有効口径で割っ	
39		F値	数値	た値であり、レンズの明るさを示す指標として用いら	
		***************************************		れる)	
40		絞り値	数値	レンズの絞り値	5.6
41		レンズ最小F値	数値	レンズの最小F値	
	撮影情報			カメラ又は入力機器の撮影時の感度を表し、	
42	MX NO 111 TIX	撮影感度	数値	ISO12232で規定されるパラメータである標準出力感	
12		14×ホケルビバス	<b></b>	度(SOS)、推奨露光指数(REI)、ISOスピード(ISO	
				Speed)のいずれかの値	
43		レンズ焦点距離	数值	撮影レンズの実焦点距離(単位はmm)	
				撮影レンズに関する情報(メーカ名、モデル名、仕	Schneider/RO
44		レンズ	文字列	様など)	DENSTOCK
				HERVIER OF THE PROPERTY OF THE	ンズ
45		フラッシュ	文字列	撮影時のストロボの状態(ストロボ発光せず、ストロボ	
		***************************************		発光など)  測光方式(平均、中央重点、スポット、マルチスポッ	
46		測光方式	文字列		
		***************************************		ト、分割測光、部分測光など) 光源の種類(昼光、蛍光灯、タングステン、フラッ	
47		光源	文字列	元源の種類(昼元、虽元灯、ダンケスノン、ノノツ   シュ、昼光色蛍光灯、昼白色蛍光灯、白色蛍光灯	   蛍光灯
41		儿你	又于列	ひ立、金元巴虽元州、全日巴虽元州、日巴虽元州   など)	里儿灯
				どのような方法で作成したのかを記述。既存のメ	
				ディア(フィルム、ガラス乾板など)をスキャナ装置で	
48		作成方式	文字列	読み込むことにより作成、またはデジタルカメラやス	スキャナカメラ
				キャナカメラなどによる直接デジタル化	
				177777 3301-03442777771	Silverfast Ai
	49 作成情報	Hall and the	1	W. D. Lee Birth. Martin. A.	Studio,
49		使用ソフトウェア	文字列	作成する際に使用したソフトウェア名を記述	Photoshop
					CS2
		/ <del>+</del> III o c	-l-> -l-> -r-1	16-12 1-7 1907 1-15 TO 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	Macintosh OS
50		使用OS	文字列	作成する際に使用したPCなどのOS名を記述	10.3
51		使用ハードウェア	文字列	作成する際に使用したハードウェア名を記述	Contents
91		使用ハートリエノ	又于タリ	TF成する际に使用したパードウェア名を記述	Maker 6000S
52		保存方法	文字列	保存媒体やバックアップ方法について記述	BD-R
53	保存情報	保存場所	文字列	保存媒体の置き場所	
54		管理番号	文字列	保存媒体の管理番号やボリューム名など	2010_edo_ezu
55		権利保有者	文字列	画像の権利保有者/権利保有機関の名前	石川県立図書 館
		)±00 H		権利保有者/権利保有機関の電話番号、E-mailな	076-223-
56		連絡先	文字列	E THE THE THE THE THE THE THE THE THE TH	9565
	+左工川↓+ +□	H1 33 1 H	ナナナル	画像を出版、ネット、放送メディアなどで公表する際	石川県立図書
57	権利情報	クレジット名	文字列	の記載事項	館
					館内での閲覧
EO		<b>は田冬</b> 供	ナウ和	画梅なは田子を際の許可車で 林山東でわじ	利用のみを許
58		使用条件	文字列	画像を使用する際の許可事項、禁止事項など	可する。印刷
					は禁止する。
59		閲覧画像の大きさ(縦)	整数	閲覧画像の縦方向のピクセル数	10,000
60		閲覧画像の大きさ(横)	整数	閲覧画像の横方向のピクセル数	10,000
61	閲覧画像	閲覧画像の容量	整数	閲覧画像のデータ容量(単位はbyte)	30,004,862
62	情報	公開形式	文字列	閲覧画像のファイル形式やビューワなど(バージョン	ContentsView
				などの情報を含む)	Controlles view
63		公開場所	文字列	閲覧画像の公開場所(URL)	

# 5.1 史料メタデータ項目

(梅田作成)

# 1)社会連携研究部門 史料メタデータ項目一覧ver.1.6

1 中型の中央	Z, É	項目	説明	記述仕様	ISAD(G)2対象項目
1 史料の内容・) 参照コード		識別記号	   史料目録データの固有番号	現時点では形式未定。今後統一的な基準を記せて記される。	1.1参照コード
		史料記号	既刊目録に記載された番号・記号	準を設けて設定する 既刊の史料目録などに掲載された番号・記号を記入する	1.1参照コード
-	3	史料管理記号	所蔵機関で付与された番号・記号	「史料記号」の他に所蔵機関での管理	1.1参照コード
標題(階層表示)	4	所蔵機関名(コレクション)	史料を所蔵する機関の名称	番号・配架番号があれば記入する 所蔵機関の正式名称を記入	1.2タイトル
	5	史料群名(フォンド)	出所に基づく史料群名	史料群・文書群の名称を記入(「**家 文書」など)	1.2タイトル
*4~11のうち	6	副史料群名(サブフォンド)	史料群の下位分類	史料群に下位分類が必要な際に設定する(史料群の変化に応じて近世文書 /近代文書に分類する場合、「**家文書(寄贈分)」「**家文書(購入分)」 といった分類が必要な場合)	1.2タイトル
最も下位の項目 を「標題」とする	7	分類名(シリーズ)	史料群内を機能・組織・残存状況に よって分割したときの一集合	史料群の構成が史料の組織的性格・内容・現状・伝来形態に基づいて分類できる場合、分類名を記入する(「町政関連文書」「商用文書」「家文書」といった作成主体・性格による分類、「箪笥上段」「長持1」など伝来形態による分類など)	1.2タイトル
	8	副分類名(サブシリーズ)	7の「分類名」の下位分類	バ分類名」で設定した分類の下に細目 を必要とする場合に記入する	1.2タイトル
	9	文書集名(ファイル)	同一件の史料や冊子体の綴り・一括など	同一件で複数の史料がまとまって残存する場合(「**日記」複数年分など)、 一連の簿冊などの場合、包紙・封筒などの一括に設定する	1.2タイトル
	10	文書名(アイテム)	史資料の物理的最小単位	文書1通、1冊単位での件名。文書(アイテム) の場合、原題を優先する。原題が無い場合、「[**書状](年始挨拶につき)」など[]で標題をつけ、()で内容を補足	1.2タイトル
	11	歴史事象名(イベント)	文書に含まれる記事	文書集(ファイル)・文書(アイテム)から 特定の記事を抜き出して記述する場合 に設定する	1.2タイトル
標題注記	12	標題読み	標題(上記4~11のうち最も下位のもの)の読み(カタカナ表記)	既刊目録などに掲載されていればその まま転載する	1.2タイトル
	13	別名標題	標題に別名(目録上の別文書名・別写本名など)がある場合記入	例えば、文書の原題と既刊目録などで の文書名が異なる場合、内題と外題が 異なる場合に記入	1.2タイトル
	14	別標題読み	標題別名の読みを記入(カタカナ表記)	典拠に記されていればそのまま転載する	1.2タイトル
	15	別標題の典拠	別名標題の典拠	別名標題の典拠。例)「『**』目録所載」、「外題」など	1.2タイトル
階層表示	16	出典個所	史料群内での位置・分類や巻号に関 する補足	文書(アイテム)や歴史事象(イベント) の巻号・出典箇所を表記する際に記入する	1.2タイトル
		階層表示特記事項	階層構造に関する補足説明	分類方法について特に説明を要する場合に記述(たとえば、「既刊目録『** 文書目録』の分類を踏襲した」「**収蔵段階での現状による」など)	1.4記述レベル
年月日	18	作成年代(和暦):開始	文書の作成・刊行年代。特定される年代もしくは、幅のある年代の始点(上限、もっとも古いもの)となる年代を記入	例)「宝暦二年三月三日」と日付がある 書状の場合→本欄に日付を記載し、20 は空欄。「従宝暦二年正月 迄宝暦四	1.3年月日
	19	作成年代西暦コード:開始	18「作成年代:開始」の西暦年月日 コード	年十二月」とされた帳面の場合→本欄  に「宝暦二年正月」、20「文書作成年代  (和暦):終了」欄に「宝暦五年十二月」	1.3年月日
-	20	作成年代(和暦):終了	文書の作成・刊行年代。幅のある年代	【(和僧だ終了]懶に「玉僧五年十一月」 と記入 西暦コードは史料編纂所で用いる11桁 Jコードを使用(別紙マニュアル参照)	1.3年月日
	21	作成年代西暦コード:終了	20「作成年代:終了」の西暦+年月日9 桁コード	コードで区内(別似メーユブル参照)	1.3年月日
-	22	内容年代(和暦):開始	間は 作成年代と異なる場合のみ、特定される年代もしくは、幅のある年代の始点となる年代を記入	例)「寛永三年」の文書を「文政四年」に 書写した場合、この欄には「寛永三年」 と記入し、18に「文政四年」と記入	1.3年月日
	23	内容年代西暦コード:開始	22「内容年代:開始」の西暦+年月日9 桁コード	西暦コードは史料編纂所で用いる11桁 コードを使用(別紙マニュアル参照)	1.3年月日
	24	内容年代(和暦):終了	作成年代と異なる場合、幅のある年代 の終点となる年代を記入	内容年代に幅がある場合に使用	1.3年月日
	25	内容年代西暦コード:終了		西暦コードは史料編纂所で用いる11桁 コードを使用(別紙マニュアル参照)	1.3年月日

I	26	干支	干支表示		1.3年月日
		天皇	史料作成時の天皇		1.3年月日
	28	将軍	在位将軍史料作成時の将軍名		1.3年月日
	29	藩主	在位藩主·領主	近代以前における史料蓄積地の領主 を記入	1.3年月日
作成者	30	差出·作成者	史料の差出・作成者・著者	編・著などの情報は // で記入(例) 「森 田柿園 // 編」	2.1作成者名称
	31	宛所	史料の宛所	敬称も省略せず記入	2.1作成者名称
	32	書写者	史料の書写者・出版者	筆写者・出版者などの情報は // で記入 (例)「森田柿園 // 写」	2.1作成者名称
内容	33	関係地	関係する地名	史料を蓄積・作成ないしは史料の内容 に関連する地名	3.1範囲と内容
	34	人名·団体名	関係する人名	史料を蓄積・作成ないしは史料の内容 に関連する人名、登場人物	3.1範囲と内容
	35	主題	記事内容の主題		3.1範囲と内容
	36	解題・説明	史料(群)の範囲・内容に関する説明	目録の解説文から引用する場合、他項 目にあてはまる情報は該当する項目に 転記する	3.1範囲と内容
数量·寸法		数量	史料の数量	史料の点数・件数を記載	1.5数量・サイズ
		数量表示	「枚」「通」「冊」等		1.5数量・サイズ
		形状工物	竪紙・切紙など文書の形態を記す 工物・黒仕物物など	史料の紙数を記載	1.5数量・サイズ 1.5数量・サイズ
			丁数・墨付枚数など 大きさ(縦)	火付	1.5数量・サイズ
		寸法(横)	大きさ(横)		1.5数量・サイズ
		欠損	破損の有無、前欠・後欠など		1.5数量・サイズ
	44		写本・印刷・拓本など史料の形態に関		1.5数量・サイズ
		形態に関する注記	する特記事項		
	45	紙背文書の情報	紙背文書があれば識別記号を記入	紙背文書がある場合、紙背も独立した 一点の史料としてデータを作成する。そ の史料の「1識別番号」を記入	3.1範囲と内容
様式	46	端裏書・包紙など	(近世文書の場合)端裏・包紙の文言	THE REPORT OF THE PERSON OF TH	3.1範囲と内容
	47	本文書出·書止	文書の書出・書止を記録する必要があ		3.1範囲と内容
		<b>个人百山 百</b> 山	る場合		
2. 所蔵状況					
	48	履歴	史料(群)の形成過程に関する情報	史料・史料群を作成・蓄積した組織に関する情報	2.2管理的経歴
	49	伝来	史料(群)の伝来過程に関する情報	史料・史料群を作成・蓄積した組織の 変遷を含む管理上の情報	2.3記録史料伝来
		入手源	現在の所蔵者の入手元、入手手段		2.4取得先•譲渡先
	51	原本の所在・史料群	現在の所蔵者、所蔵情報		5.1原本の存在と所在
3. 利用条件		5 4 <del>5</del> 5 7	# m = 27 + 4		
		記述言語	使用言語・文字	日本語/中国語など	4.3資料の言語·書体 5.3関連記述単位
		自治体史掲載 自治体史詳細掲載個所	掲載自治体史の書誌 自治体史上の掲載個所	例)『石川県史』第二編(昭和14年版) 章立て、ページ数など	5.3関連記述単位
		自治体史図版	図版掲載の有無、図版掲載箇所	早立し、ハーク数なと	5.3関連記述単位
	56		と対を掲載した出版物や関連資料が と料を掲載した出版物や関連資料が		
ĺ	55	出版物·関連資料	あれば記載		5.4出版注記
4デジタル化要件	:デ-	-タ	CO TOTAL HOUSE		
	_	所蔵館デジタル画像	史料所蔵館など、史料編纂所以外の		5.2複製の存在と所在
			機関が保有する画像のURL		50指制の左右します
		史料編纂所所蔵画像	史料編纂所が保有する画像のURL		5.2複製の存在と所在 5.2複製の存在と所在
	59	史料編纂所所蔵画像情報	史料編纂所が保有する史料(写真帳・  謄写本)の情報		0.2夜衣切竹红C川往
新規撮影データ	60	新規撮影画像	暦ラ本)の情報  新たに撮影する画像のURL		5.3関連記述単位
イン 1 / フル JAX ボノ / ・ /		画像メタデータ	IPTC準拠項目など	画像メタデータのID	4.2複製管理条件
5注記・その他			- 1 1/2 // 3 // 3 // 3		
	62	注記	その他注記	底本とした既刊目録に誤りがあった場合の訂正など	6.1注記
	63	既刊目録名	データ目録の典拠となる既刊目録の 名称	既刊目録の名称(書誌情報·作成主体なども:例『森田文庫目録』)	4.5探索補助資料
6.記述統制					
A-1-1/0101	64	 入力者名	目録入力者を明示する。		7.1アーキビスト注記
		更新者	目録更新者を明示する。		7.1アーキビスト注記
	66		参照すべき記述マニュアルなどがあれ ば記録	データver.1.5」)、その他、文書整理の	7.2規則類
	67	作成日	目録作成日	方法など	7.3記述年月日
		更新日	目録更新日		7.3記述年月日
	υÜ	<u> </u>	日季天何日	l.	7.0 尼尼十万日

\*本メタデータ項目は、東京大学史料編纂所公開データベース、ISAD(G)2nd、国文学研究資料館史料情報共有化データベースおよび国立公文書館 データベースを参考に、東京大学史料編纂所社会連携研究部門において史料管理・検索を目的に作成したものです。

本メタデータ項目に採用しなかったISAD(G)2nd項目

3.2評価、廃棄、管理計画情

3.3追加

3.4整理システム 4.1アクセス管理条件 4.4物理的特長と技術要件

# 2)史料メタデータ項目一覧ver.1.6入力項目

〇=必須項目

△=任意項目 表示項目 ―=記入しない

							<b>双小块口</b>		
		所蔵機関	史料群	副史料群	分類名	副分類名	文書集	文書	歴史事象
	項目	(コレクショ	(フォンド)		(シリー	(サブシ	(ファイル)	(アイテ	(イベント)
	22.66	ン)	(* 13 = 1 )	ンド)	ズ)	リーズ)	( ) ( ) ( )	ム)	,
1 史料の内容・刑									
参照コード	1 識別記号	0	0	0	0	0	0	0	0
=	2 史資料記号		00	0	0	0	0	00	
据略/账员士二\	3 管理記号	_	00	<u>o</u>	00	00	0	0	
標題(階層表示)		0	0	0	0	00	0	0	0
* 111	5 史料群(フォンド)		0	0	Ŏ.	O ^	Ŏ	0	O ^
*4~11のうち 早+下はの項目	6 副史料群(サブフォンド)			0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
最も下位の項目	7 分類名(シリーズ)				0	Δ	Δ	$\triangle$	Δ
=	8 副分類名(サブシリーズ)					0	Δ Ο	Δ	Δ Ο
=	9 文書集(ファイル)						O	Δ	
	10 文書(アイテム)							0	0
	11 歴史事象(イベント)	_		_		0	_		
	12 <mark>タイトル読み</mark> 13 別名タイトル	0	<u>Ο</u>	Ο Δ	Ο Δ	Δ	Ο Δ	О Д	0
	14 別タイトル読み		Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	
			Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	
階層表示	15 <mark>別タイトルの典拠</mark> 16 出典個所		Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
			_	_	_	_			
年月日	17 階層表示特記事項 18 作成年代(和曆):開始		Δ	Δ	Δ	Δ	Δ Ο	Δ Ο	Δ
**/ D	18 作成年代(和暦): 開始 19 作成年代西暦コード: 開始		Δ	Δ	Δ	Δ	0	0	Δ
-				Δ	-				
-	20 作成年代(和暦):終了		Δ		Δ	Δ	Δ	Δ	Δ
-	21 作成年代西暦コード:終了		Δ	Δ	Δ		Δ	Δ	Δ
-	22 内容年代(和暦):開始 23 内容年代西暦コード:開始							0	Δ
-	24 内容年代四暦コート: 開始 24 内容年代(和暦):終了				-		0	Δ	Δ
=	25 内容年代(和層):終了						Δ Δ	Δ	Δ
-	26 干支						Δ	Δ	
-	27 天皇						Δ	Δ	-
	28 将軍						Δ	Δ	-
-	29 藩主						Δ	Δ	-
作成者	30 差出・作成者		Δ	Δ	Δ	Δ	0	0	
	31 宛所		Δ	Δ			0	0	
	32 書写者						Δ	Δ	0
内容	33 関係地	— 〇所在地	0	0	0	0	Ö	0	0
	34 人名·団体名	〇機関名	0	0	0	0	0	0	0
-	35 主題	〇館種	<u> </u>	$\cup$	O	O	0	0	0
=	36 解題·説明		0	0	0	0	0	0	0
	37 数量	0	Δ	Δ	Δ	Δ		0	O
	38 数量表示		Δ	Δ	Δ	Δ	00	0	
	39 形状		Δ	Δ	Δ	Δ	0	0	
=	40 丁数						Δ	Δ	
-	41 寸法(縦)						Ö	0	
=	42 寸法(横)						0	0	
=							Ŏ.		
-	43 欠損						Δ	Δ	
-	44 形態に関する注記 45 紙背文書の情報						Δ	Δ	
- 様式	46 端裏書・包紙など						Δ		
*****	47 本文書出・書止						Δ	Δ Δ	-
2. 所蔵状況	7/ 个人百山 百山				u—		سے سے		
	48 履歴		0	0		0	Δ	Δ	
	48 <u>履歴</u> 49 伝来	E	0	0	0	0	Δ	Δ	▐▔──┤
	50 入手源		Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	
	50 <u>八子派</u> 51 原本の所在・史料群		Δ	Δ	Δ	Δ	0	0	
3. 利用条件	○ 小小丁♥️/// □ 又有百種		<u></u>	<u></u>	<u> </u>				1
	52 記述言語		0	0	0	0	0	0	
	53 自治体史掲載				Ľ		0	0	0
	54 自治体史詳細掲載個所	L					Δ	Δ	0
	55 自治体史図版						Δ	Δ	0
	56 出版物・関連資料			Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Ö
4デジタル化要件・	<b>データ</b>								
・ケックル心女圧	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>						0	0	Δ
	58 史料編纂所所蔵画像						Ö	Ö	Δ
		1					0	Ö	Δ
	59 中料編纂所所蔵画像情報	_	11	1	1		ŏ	0	Δ
新規撮影データ	59 史料編纂所所蔵画像情報				<b>—</b>				
新規撮影データ	59 <u>史料編纂所所蔵画像情報</u> 60 新規撮影画像						Õ		C
	59 史料編纂所所蔵画像情報						0	ŏ	0
5注記・その他	59 <u>史料編纂所所蔵画像情報</u> 60 <u>新規撮影画像</u> 61 画像メタデータ	— — — AURI		 		_		0	
5注記・その他	59 <u>史料編纂所所蔵画像情報</u> 60 新規撮影画像 61 画像メタデータ 62 注記		  	  Δ	  Δ	Δ	Δ	Ο Δ	Δ
5注記・その他	59 <u>史料編纂所所蔵画像情報</u> 60 <u>新規撮影画像</u> 61 画像メタデータ		  	 Δ Δ	  	 Δ		0	
5注記・その他	59 <u>史料編纂所所蔵画像情報</u> 60 新規撮影画像 61 画像メタデータ 62 注記 63 既刊目録名	_	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ Δ	Ο Δ Δ	Δ
5注記・その他	59 <u>史料編纂所所蔵画像情報</u> 60 新規撮影画像 61 画像メタデータ 62 注記 63 既刊目録名 64 入力者名	0	Δ	Ο	Ο	Δ	Δ Δ	О Д Д	Δ
5注記・その他	59 <u>史料編纂所所蔵画像情報</u> 60 新規撮影画像 61 画像メタデータ  62 注記 63 既刊目録名  64 入力者名 65 更新者	_	Δ Ο Ο	Δ Ο Ο	Δ Ο Ο	Δ Ο Ο	Δ Δ Ο Ο	Ο Δ Δ Ο Ο	Δ Δ Ο Ο
5注記・その他	59 <u>史料編纂所所蔵画像情報</u> 60 新規撮影画像 61 画像メタデータ 62 注記 63 既刊目録名 64 入力者名	0	Δ	Ο	Ο	Δ	Δ Δ	О Д Д	Δ

# 東京大学史料編纂所社会連携研究部門 5.2 史資料のメタデータ例 - 『石川県史』第三編引用史料のメタ―データ -

データ事例

ナータ争が		史料メタデータ項目一覧ver.1			(シリーズ欠)		
1 史料の内容・		項目	所蔵機関(コレクション)	史料群(フォンド)	文書集(ファイル)	文書(アイテム)	歴史事象(イベント)
参照コード		識別記 <del>号</del>	例) 0002	例)0002-0010	例)0002-0010-0031	例)0002-0010-0031-0015	例)0002-0010-0031-0015-
		政例記号 史資料記号	17·1 / UUUZ	物が0002-0010 特16*	9035*	10002 0010-0031-0015	0003
	3	管理記号					
標題(階層表示)	4	所蔵機関(コレクション)	金沢市立玉川図書館 近世史料館	金沢市立玉川図書館 近世史料館	金沢市立玉川図書館近世 史料館	金沢市立玉川図書館近世史 料館	金沢市立玉川図書館近世 史料館
	5	史料群(フォンド)	近世文行品	加越能文庫	加越能文庫	加越能文庫	加越能文庫
*4~11のうち 最も下位の項目		副史料群(サブフォンド) 分類名(シリーズ)					
取り下位の項目	8	副分類名(サブシリーズ)					
		文書集(ファイル)			温故足徴*	温故足徴	温故足徴
	10	文書(アイテム)				(末森城陥落につき前田利家 書状)	(末森城陥落につき前田利 家書状)
	11	歴史事象(イベント)					(末森城陥落につき前田利
-	12						家書状) スエモリジョウカンラクニツ
標題注記		タイトル読み		カエツノウブンコ	オンコソクチョウ*	マエダトシイエショジョウ	キマエダトシイエショジョウ
_		別名タイトル				前田利家書状写	
		別タイトル読み 別タイトルの典拠				マエダトシイエショジョウウツシ 編纂所ユニオンカタログ	
階層表示	16	出典個所				/ 一角 グラン	
年月日	17	階層表示特記事項 作成年代(和曆):開始				(天正12年)9月14日	
+70	19	作成年代西暦コード:開始				1584009014	
		作成年代(和暦):終了					
-		作成年代西暦コード:終了 内容年代(和暦):開始					
	23	内容年代西暦コード: 開始					
		内容年代(和暦):終了 内容年代西暦コード:終了				<del>                                     </del>	
	26	干支					
		天皇 将軍				正親町天皇	
/ <u></u>	29	藩主				前田利家	
作成者		差出•作成者 宛所			富田景周*	又左利家判 青木善四郎	
	32	書写者					
内容		関係地 人名・団体名					末森城 前田利家/青木善四郎
	35	主題			+c+## = E o + + = = E		末森合戦
	36				加越能三国の社寺・藩臣 家等に所蔵する古文書を		
					蒐集したもの。景周の古文		
					書に対する注記、考証も一 部施されている。配列は不		末森城陥落時の戦況につ
					斉一であり、古文書所蔵		いて報告し、一層の警備強
		解題•説明	関連URL	関連URL	者はわからず、編年もなさ れていない。古文書の原		化を指示するため、前田利 家が青木善四郎に出した書
					写の別は、「御判」「黒印」		家が有不審四郎に出した書 状
					という表示と花押影・陰影		
					で区別できる。「三州志」編 さんの目的で作成されたも		
数量·寸法	27	数量			の。* 2*		
数置-7本		数量表示			<del>-</del>		
		形状			冊子*		
-	41	丁数 寸法(縦)					
-	42	寸法(横)					
-		欠損 形態に関する注記			写本*		
	45	紙背文書の情報					
様式		端裏書・包紙など 本文書出・書止					
2. 所蔵状況							
				史料の大半は明治初 年から御家禄方および			
	48	履歴		前田家編輯方が, 前田			
				家とその治政の歴史を 編纂するために収集し			
				からます ノ かにのバウス来し			
	40	/ <del>-</del> <del>\</del> \		昭和23年前田育徳会			
	49	伝来		尊経閣文庫から金沢市 に寄贈			
		1 - 4					
		入手源 原本の所在・史料群		原蔵者(前田家)		温故足徴	
3. 利用条件					一八百百四城州校祀入洋		
		記述言語 自治体史掲載					『石川県史』第二巻
	54	自治体史詳細掲載個所					p73/10~16行
	55 56	自治体史図版 出版物·関連資料					
4デジタル化要件	デー	-タ					
	EO	所蔵館デジタル画像				ューオンカタログ	
	58	史料編纂所所蔵画像		<u>                                      </u>		ユニオンカタログ XA000000148938	
	59	<b>山州经管武武港高岛域</b> 20				謄写本2071.40-1-40加能越	
		史料編纂所所蔵画像情報				古文叢(22400001)前田利家 書状写	
新規撮影データ		新規撮影画像					
5注記・その他	61	画像メタデータ					
-A-po (V/IS		注記					
	63	既刊目録名		『加越能文庫解説目	『加越能文庫解説目録』金	『加越能文庫解説目録』金沢	
6.記述統制				録』金沢市立図書館	沢市立図書館	市立図書館	
ひ.自己大正和し申!		入力者名					
		更新者 目録規則					
	67	作成日					
		更新日					

### 6. ADEAC利用案内

# 6.1 ADEAC利用マニュアル

自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム: ADEAC

イアンドで、A System of Digitalization and Exhibition for Archival Collections 本文閲覧 キーワード検索 系譜検索 侍帳検索 郷帳検索 年表検索 ヘルプ

# 自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム

自治体史トップ 石川県史トップ 加越能地図 刊本

### 『石川県史』ヘルプ

- (1) 概要
- (2) 注意点
- (3) 画面説明
  - ①石川県史トップ画面
  - ②本文閲覧画面(目次)
  - ③キーワード検索画面
  - ④系譜検索
  - ⑤侍帳検索
  - ⑥郷帳検索
  - <u>⑦年表検索</u>
  - ⑧本文閲覧画面
  - 9目録データ

#### (1) 概要

本システムは、日置 謙(へき けん)著『石川県史第二編』(昭和3年刊、昭和14年改訂、昭和49年復刻)および『第三編』(昭和4年刊、昭和15年改訂、昭和49年復刻)を電子化したものです。 刊本の版面をPDF表示する「刊本」と、本文・付録・掲載史料を対象とした「検索閲覧システム」の二つの部分からなります。

#### 刊本

『石川県史』の書籍版面をそのまま画面で見られるようにした電子書籍です。画面の複写はできません。目次から読 みたい章に移ることができます。

#### 検索閲覧システム

■本文閲覧:『石川県史』を目次から章別に閲覧できます(横書き、テキスト表示)。

■キーワード検索:索引語・フリーワードにて本文の掲載個所を閲覧できます。

■系譜検索:『石川県史』付録に掲載されている藩主・老臣の「系譜」から、特定の人物に関する記述を閲覧できます。

■侍帳検索:『石川県史』付録に掲載されている「侍帳」から、加賀藩・大聖寺藩藩士の禄高や居所を検索できます。

√・・・</l>・・</l>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</l>・・</l>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</l>・・・・・・・・・・

■年表検索:『石川県史』付録に掲載されている「年表」から、年代や用語を特定して、本文の該当箇所を閲覧できます。

### 地図参照ボタン

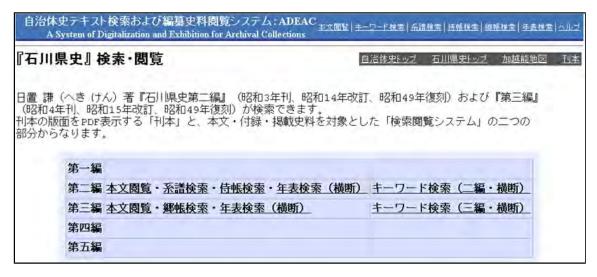
江戸時代の石川・富山地域の概略図「加越能三ヵ国領国図」(『加越能近世史研究必携』(田川捷一編、平成7年刊)8ページに掲載)を閲覧できます。

#### (2) 注意点

- ・本サイトは、東京大学史料編纂所社会連携研究部門と石川県立図書館の共同研究によるものです。
- ・画面のコピーはできません。ご了承ください。
- ・本システム掲載の史料等には、現代社会においては不適切な表現や用語が含まれています。本システムでは歴史的 資料としての真正性を考慮して、刊行当時の表現を維持しました。克服すべき歴史的課題としての視点からの利用を お願いします。
- ・システムに関するお問い合わせ・ご意見・ご感想などにつきましてはinfo@histo-arc.dnp.comまで問い合わせください。また、目録表示での所蔵先が「所蔵未確認」となっている史料の所在につきまして情報がありましたら、ご連絡をお願いします。

#### (3) 画面説明

### ①石川県史トップ画面



各リンクを選択すると対応する画面に移動します。

# ②本文閲覧画面(目次)



- ・画面左側には、全体の章・節が表示されます。必要な章または節をクリックすると、画面右側に、節ごとの細目 (標出)が表示されます。
- ・画面右側には、節ごとの細目(標出)が表示されます。
- このアイコンは、本文中に引用されている史料のタイトルです。史料の目録データにリンクします。
- ◎ このアイコンのある史料については、史料原本の写真を閲覧することができます。
- このアイコンは、『石川県史』に掲載されている画像を指します。画像の目録データにリンクします。
- このアイコンは、『石川県史』に掲載されている画像のガラス乾板を指します。

#### ③キーワード検索画面

『石川県史』キーワード検索			自治体史トップ	石川県史トップ	加越能地図	刊本
<ul><li>○ 索引語検索 (<u>索引語一覧</u>)</li><li>○ フリーワード検索</li></ul>	検索	קול				
検索対象: ☞ 石川県史第二編 ☞ 石川県史第三編						

- ・「索引語検索」は、『石川県史第二編』および『第三編』の巻末索引を含め、本システムで付与した用語を基に本 文を検索することができます。
- ・「フリーワード検索」は、人名・地名など任意の語(文字列)で検索できます。なお、本文は原綴(主に旧字体)で入力していますが、新字で検索できます。

各検索の手順は以下のとおりです。

#### ■「索引語検索」

- ・検索方法を指定するラジオボタンで「索引語検索」を選択します。
- ・索引語を入力します。
- ・検索対象(第二編、第三編)をチェックします。
- ・検索ボタンを選択し、検索を実行します。



索引語を選択するとその索引語でのキーワード検索結果を表示します。



- ・索引語一覧を表示します。索引語末尾の数字は検索結果件数です。
- ・あかさたな形式のリンクを選択すると、各索引語の見出し先頭に移動します。
- ・索引語を選択するとその索引語でのキーワード検索結果を表示します。

#### ■「フリーワード検索」

- ・検索方法を指定するラジオボタンで「フリーワード検索」を選択します。
- ・キーワードを入力します。複数指定する場合は空白で区切ります。 (クリアボタンを選択すると入力したキーワードをクリアします)
- 一覧表示件数を選択します。
- ・検索ボタンを選択し、検索を実行します。



- ・ページの移動は[先頭へ], [前へ], [次へ], [最終へ]またはページ番号を選択して行います。
- ・標出のリンクを選択すると本文を表示します。

#### ④系譜検索



・系譜検索は、『石川県史第二編』の巻末に掲載されている「系譜一覧」(藩主・老臣らの系譜)を対象に検索することができます。生没年・家族関係・官職などのデータを閲覧できます。 任意の人名で検索するか、一覧から選択して閲覧できます。「家別」では家系ごとに世代順に、「人物一覧」では家

各検索の手順は以下のとおりです。

名別に排列しています。

#### ■「系譜検索」

- ・検索方法を指定するラジオボタンで「索引語検索」を選択します。
- ・検索ボタンを選択し、検索を実行します。

系譜	<b>持検索結果</b>	自	台体史トップ 石川県史トップ 加越能地図 刊本	
検索網	結果:226件 検索キーワード:前日	В		
	1 2 3 4	5 6 7 8 9 10 11 次へ 最終	1-20 /226件	
No	氏名	系譜関係	職名	
1	前田利家		第一世加賀藩藩主	
2	前田郷姫・督姫・幸姫	利家の長女		
3	前田利長	利家の長男	第二世加賀藩藩主	
4 前田将姫・粧姫		利家の次女		
5 前田磨阿姫・阿茶姫		利家の三女		
6 前田豪姫・阿語姫		利家の四女		
7 前田与米姫		利家の五女		

・氏名のリンクを選択すると系譜詳細画面を表示します。



### ■「家別一覧」

・「系譜 藩主・老臣 家別一覧」のリンクを選択します。

自治体 A	文史テキスト杉 System of Digi	検索および編 talization and 1	纂史料閱賢 Exhibition for	覚システム: Archival Coll	ADEAC <sub>本文</sub> ections	<u>閲覧   キーワード</u>	後素   系譜接索		握推索   年表検索	JAMZ
系譜	藩主·老目	5 家別-	-覧			自治体	史トップ 石	川県史トップ	加越能地図	刊本
■ 藩主 加賀藩落 前田利 前田治師	審主 第1世 前田利長	- 第14世 前田利常 前田齊泰	前田光高前田慶寧	前田綱紀	前田吉徳	前田宗辰	前田重凞	前田重靖	前田重教	
七日市河前田利達前田利達			前田利慶	前田利英	前田利理	前田利尚	前田利見	前田利以	前田利和	
大聖寺? 前田利? 前田利?		- 第14 前田利直 前田利行	世 前田利章 前田利鬯	前田利道	前田利精	前田利物	前田利考	前田利之	前田利極	
富山藩》 前田利公 前田利公	南田田浦	一 第13世 前田利興 前田利同	前田利隆	前田利幸	前田利与	前田利久	前田利謙	前田利幹	前田利保	
■ 老臣 加賀藩 前田直。	老臣前田氏	(直之系) 前田直堅	第1世 - 前田直躬	第9世 前田直方	前田直時	前田直良	前田直会	前田直信		

- ・氏名のリンクを選択すると系譜詳細画面を表示します。
- ■「人物一覧」
  - ・「系譜 人物一覧」のリンクを選択します。



氏名のリンクを選択すると系譜詳細画面を表示します。

#### ⑤ 侍帳検索



・侍帳検索は、『石川県史第二編』の巻末に掲載されている「侍帳」を対象に検索することができます。 幕末期加賀藩・大聖寺藩藩士の家名・石高・役職などを閲覧できます。任意の名字で検索するか、一覧から選択して 閲覧できます。

各検索の手順は以下のとおりです。

- ■「侍帳検索」
  - ・検索する名前の名字を入力します。
  - ・検索ボタンを選択し、検索を実行します。

6		<b>秦結果</b>		2	自治体实 <u>下少</u> 寸	1 5 大学	越能地區	刊本
) 東家	結果:	: 28件 検郭	タキーワー	- ド: 前田	1 2 次へ 最終へ		1-20	) /28 <sup>(4</sup>
No	姓	名	藩名	職制区分	禄高	居所	役職	読み
1	前田	美作守	加賀藩	平士並以上	壹萬八千石 内參千石與力知	尾坂下	年寄	まえだ
2	前田	靜之介	加賀藩	平士並以上	壹萬千石 内千石與力知	高岡町	年寄	まえだ
3	前田	桃之介	加賀藩	平士並以上	七千石 内七百石與力知	木新保	人持	まえだ
4	前田	織江	加賀藩	平士並以上	七千石 内千石與力知	仙石町	人持	まえだ
5	前田	萬之助	加賀藩	平士並以上	六千石 内貳千石與力知	石坂	人持	まえだ
6	前田	内記	加賀藩	平士並以上	四千石 内千石與力知	淺野川岸	人持	まえだ
7	前田	將監	加賀藩	平士並以上	參千四百石 内貳百石與力知	木新保	人持	まえだ
8	前田	内藏之助	加賀藩	平士並以上	<b>参千石</b>	堂形	人持	まえだ
9	前田	式部	加賀藩	平士並以上	參千石 内千石與力知	殿町	入持	まえだ
10	前田	監物	加賀藩	平士並以上	參千石 内千石與力知	淺野川小橋	人持	まえた
11	前田	外記	加賀藩	平士並以上	貳千五百石 内五百石與力知	前田美作守家中	人持	まえだ
12	前田	主殿	加賀藩	平士並以上	貳千四百五拾石 内五百拾石與力知	高岡町	人持	まえた
13	前田	主馬	加賀藩	平士並以上	千五百石 内五百石與力知	堤町後	寄合	まえだ
14	前田	源五左衞門	加賀藩	平士並以上	千貳拾石 内貳百貳拾石與力知	堀端		まえだ

# ■「侍帳 氏名一覧 五十音順」

・「侍帳 氏名一覧 五十音順」のリンクを選択します。

		料閲覧システム: ADEAC <sub>本文閲覧</sub>   ition for Archival Collections	キーワード検索   糸造検索   疫帳検索   排帳検索   年表検索   ヘルブ
侍帳 氏名-	一覧 五十音順		自治体史トップ 石川県史トップ 加越能地図 刊本
あ か が	さざただ	なはばませら	<u>⊅</u>
あ 相川平太夫 青木多膳 青木源兵衞 青池常右衞門 青山新右衞門 秋野厚見 淺香勘六	相坂勝左衛門 青木左太夫 青木虎之助 青山信左衛門 青山順次郎 秋山平作 淺香嘉門	青木儀左衛門 青木加久右 青木平九郎 青木敬次郎 青木重司郎 青木雅五郎 青山八郎左衛門 青山六左衛門 赤井傳右衛門 明石主計 淺井和太夫 淺井源右衛門 淺香文右衛門 淺香辰三郎	青木新兵衞 青木榮左衞門 青地半三郎 青地采女 青山四郎左衞門 青山將監 明石源太郎 明石磯五郎

- ・あかさたな形式のリンクを選択すると各氏名一覧の見出し先頭に移動します。・氏名のリンクを選択すると侍帳検索結果画面を表示します。
- ■「侍帳 氏名一覧 刊本掲載順(藩別禄高順)」
  - ・「侍帳 氏名一覧 刊本掲載順(藩別禄高順)」のリンクを選択します。

自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム: ADEAC 本文問覧   キーワード検索   系譜検索   通帳検索   運転検索   年表検索   ヘルプ A System of Digitalization and Exhibition for Archival Collections									
侍帳 氏名-	一覧 刊本掲載	<b>城順(藩別禄高順</b>	() <b>(</b>	台体史トップ 石川県史ト・	ンプ 加越能地図 刊本				
加賀藩 大聖号	<b></b>								
■加賀藩									
平士並以上									
本多播磨守	長大隅守	横山山城守	前田美作守	奥村助右衞門	村井又兵衞				
今枝民部	奧村内膳	前田靜之介	本多刑部	横山藏人	津田内藏助				
成瀬掃部	青山將監	前田桃之介	前田織江	寺西要人	前田萬之助				
山崎庄兵衞	伴八矢	多賀數馬	玉井頼母	中川八郎右衞門	不破彦三				
深美兵庫	西尾仲進	大音帶刀	前田内記	松平潤次郎	篠原織部				
竹田掃部	横山外記	前田將監	三田村左京	菊池大學	生駒勘右衞門				
本多主水	小小番主膳	上坂藏人	永原求馬	織田左近	前田内藏之助				
前田式部	前田監物	品川左門	篠原監物	伊藤平右衞門	多賀典膳				

- ・藩名のリンクを選択すると各藩の氏名一覧の見出し先頭に移動します。
- 氏名のリンクを選択すると侍帳検索結果画面を表示します。

# ⑥郷帳検索



- ・郷帳検索は、『石川県史第三編』の巻末に掲載さている「郷帳」を対象に検索することができます。加賀藩・大聖 寺藩領および幕臣土方氏領の村名・草高を閲覧できます。
- ・任意の国名、郡名、村名、請新田村名で検索できます。

各検索の手順は以下のとおりです。

#### ■「郷帳検索」

- ・検索するキーワード(国名、郡名、村名、請新田村名)を入力します。
- ・キーワードを複数指定する場合は空白で区切ります。
- ・検索ボタンを選択し、検索を実行します。

郷	<b>長検索</b>	<b>吉果</b>		自治	自治体史トップ 石川県史トップ 加越能地図 王			
検索	慰結果:70	58件 検索キー	ワード:	加賀國				
			123	4 5	67891	11 次へ 最終/	_	1-20 /768
No	村名	村よみ	国名	郡名	請新田村名	請新田村名よみ	草高	備考
1	淺野村	あさの	加賀國	河北郡			1,263石7斗1升5合	
2	大衆免村	だいじゅめ	加賀國	河北郡			796石5斗7升	
-			_	1000		-		
	磯邊村	いそべ	加賀國	河北郡			1,277石5斗2升	
3	磯邊村 松寺村	いそべ まつでら	加賀國加賀國				1,277石5斗2升	

### ■「郷帳 村名一覧」

「郷帳 村名一覧」のリンクを選択します。

郷帳 村名一	·覧		自治化	本史トップ 石川県史トゥ	ップ 加越能地図 刊
あ か が	さ <u> </u>	な は ば	ませらか	請新田	
あ					
相神村(2)	相窪村(1)	相瀧村(1)	相木村(1)	栗生村(5)	赤井村(2)
赤浦村(1)	赤神村(1)	赤崎村(2)	赤住村(1)	赤瀬村(1)	赤土村(1)
明.島村(2)	上江村(1)	秋常村(1)	秋吉村(1)	阿川村(1)	淺井村(3)
朝屋村(1)	淺田村(1)	淺野村(1)	淺谷村(1)	朝日村(3)	朝日畑村(1)
莇谷村(1)	東間村(3)	麻生村(1)	<u>淺生田村(1)</u>	安宅村(1)	安津見村(1)
阿手村(1)	穴口村(1)	安部屋村(1)	雨田村(1)	荒木村(1)	荒木田村(2)
嵐村(2)	荒屋村(10)	荒谷村(3)	荒屋柏野村(1)	荒山村(1)	在江村(1)
有松村(2)	栗崎村(1)	栗藏村(1)	粟田新保村(1)	栗津村(3)	栗原村(2)
<u> 莇生村(1)</u>	安代原村(1)	安養寺村(1)			
l.					
飯田村(1)	飯塚村(1)	庵村(1)	五十里村(1)	飯川村(2)	飯川谷村(2)
五十洲村(1)	伊久留村(2)	池崎村(1)	池田村(2)	<u> 池城村(1)</u>	石井村(1)
石切小原村(1)	石子村(1)	石坂村(1)	石崎村(1)	石立村(2)	石野町村(1)
石休場村(1)	泉村(9)	磯邊村(1)	板尾村(1)	板谷村(1)	井田村(1)
市坂村(1)	市瀬村(4)	市谷村(1)	<u>一谷村(1)</u>	一宮村(1)	市原村(1)
稻敷村(2)	稻手村(1)	稻舟村(1)	<u> </u>	井野河内村(1)	井口村 (2)
<u>井面村 (1)</u>	<u>飯山村(1)</u>	動橋村(1)	<u>今泉村(1)</u>	<u>今江村(3)</u>	今田村 (1)
<u>今立村(1)</u>	<u>今羽坂村(1)</u>	<u> 今濱村(1)</u>	<u>井守上坂村(1)</u>	入釜村(1)	入山村(1)
岩 <u>内村(1)</u> 岩本村(1)	岩上村(1) 印内村(2)	岩 <u>車村(1)</u> 院内村(2)	岩坂村(1)	岩崎村(1)	岩淵村(1)

- ・あかさたな形式のリンクを選択すると各村名一覧の見出し先頭に移動します。
- ・村名末尾の数字は検索結果件数です。
- ・請新田のリンクを選択すると請新田一覧の見出しに移動します。
- ・村名のリンクを選択すると郷帳検索結果画面を表示します。



年表検索は、『石川県史第二編』及び『第三篇』の巻末に掲載さている「年表」を対象に検索することができます。 任意の用語を入力することで、該当する項目を検索できます。また、年代を西暦(半角数字)で入力して指定した範 囲の年表を閲覧できます。

これらの検索結果(年表項目)から、本文を閲覧できます。

年表検索の手順は以下のとおりです。

### ■「年表検索」

- ・キーワードを入力します。複数指定する場合は空白で区切ります。 ・検索対象の期間(開始、終了)を西暦で入力します。
- 検索対象(第二編、第三編)をチェックします。
- ・検索ボタンを選択し、検索を実行します。

<b>a</b>	冶体史7 A Syst	ァキスト検察 em of Digitaliz	あよひね ation and	i暴史 Exhibit	科阅复 ion for	[ンス: Archiv	テム:ADEAC <u>本文間を</u>   <u>キーワード</u> 根素   系遺程素   <u>時帳検索   即帳</u> al Collections	(金) 主義後金   小しさ
年表	長検索	結果					自治体史トップ 石川県史トップ カ	加越能地図 刊本
検索	結果::	946件 検	索キーワ	7-F	前田		索対象:第二編、第三編 <u>本文権</u> [種別] 〇:加賀藩及び一般史についての項目、⑥:大聖寺	F藩についての項目
				1 2 :				1-20 /946件
No	刊本	元号年	西曆年	皇紀	月	種別	事項文	本文へ
1	第2編	天正十一年	1583	2243	4月	.0	前田利長加賀松任を領す	本文へ(p2)
2	第3編	天正十一年	1583	2243	10月	0	前田利家、石動山天平寺を再営す	本文へ(p519)
3	第3編	天正十一年	1583	2243	是歳	0	前田利家初めて鳳至郡に檢地を行ふ	本文へ(p779)
4	第2編	天正十二年	1584	2244	9月	0	四日前田利家佐々成政の反状を羽柴秀吉に告ぐ	本文へ(p57)
5	第2編	天正十二年	1584	2244	9月	0	十日前田利家末森救援の為に金澤城を發す	本文へ(p64)
6	第2編	天正十二年	1584	2244	9月	0	十一日前田利家佐々成政と末森に戰ふ	本文へ(p65)
7	第2編	天正十二年	1584	2244	9月	0	十一日前田利家第一報を羽柴秀吉に致す	本文へ(p71)
8	第2編	天正十二年	1584	2244	9月	0	十三日前田利家重ねて戦況を羽柴秀吉に報ず	本文へ(p71)
9	第2編	天正十二年	1584	2244	9月	0	十四日前田利家・利長末森の戦況を青木善四郎に通ず	本文へ(p72)
10	第2編	天正十二年	1584	2244	9月	0	十六日羽柴秀吉前田利家の末森に於ける戰勝を賞す	本文へ(p74)

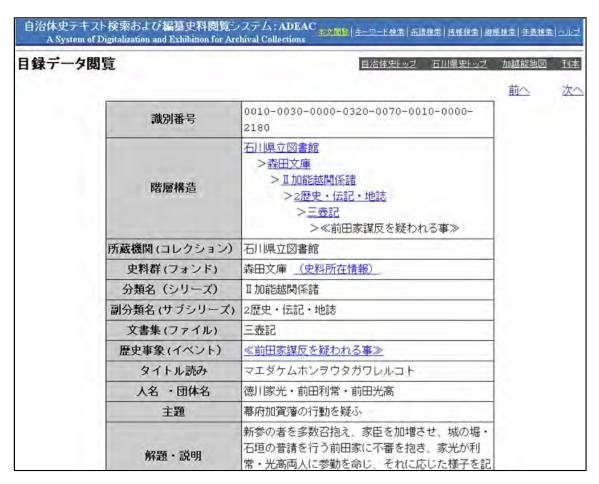
- ・本文検索ボタンを選択すると、入力したキーワードでキーワード検索を実行します。
- ・「本文へ」のリンクを選択すると、入力したキーワードで本文検索を実行します。

#### ⑧本文閲覧画面

<u>クチンプリストロコロ</u> 自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム: ADEAC <sub>多文商格 | キーワード検索 | 系元検索 | 所収検索 | 順乗検査 | 年表検索 | ヘルブ</sub> A System of Digitalization and Exhibition for Archival Collections 『石川県史』第二編 本文閲覧 自治体史トップ 石川県史トップ 加越能地図 刊本 第一章 領主及び領土 前へ 次へ 9/1119ページ 加賀藩領二村返上と近江領増加 明暦元年白山嶺上神祠修造の權利に關し、加賀藩の領民と越前藩の領民と紛議を醸し、容易に解決を見ず。幕府乃 ち寛文八年に至り、加賀藩に屬する能美郡尾添・荒谷の二村を削りて、越前領たりし白山山麓の牛首・風嵐・島・ 深瀬・下田原・鴇ヶ谷・釜谷・五味島・女原・二口・瀬戸・新保・須納谷・丸山・小原・杖十六ヶ村と共に、之を 幕府直轄の地となし、加賀藩に對しては、その代償として近江高島郡海津の中村を與へたりき。是を以て享保二年 將軍吉宗の前田綱紀に與へたる判物は左の如く。その目録も亦寛文四年のものに、近江國高島郡之内今津村・弘川 村高貳千貳百六拾石貳斗八升壹合とありたるを、近江國高島郡之内三ヶ村貳千四百三拾石餘に増加したるを見る。 加賀·能登·越中三箇國百貳拾萬貳千七百六拾石之内。加州江沼能美二郡之内七萬百七拾石餘。越中婦 負・新川二郡之内拾萬石、能州四郡之内壹萬石、以上拾八萬百七拾石餘除<sup>し</sup>之。殘百貳萬貳千五百九拾石 餘、并近江國高島郡之内三ヶ村貳千四百三拾石餘、高百貳萬五千石餘(目録別紙ニアリ)事宛二行之一訖。依 一代々之例一領知え状如し件。 享保貳年八月十一日 吉 宗 在判 加賀宰相(前田綱紀)殿 〔越登賀三州志〕 ([徳川吉宗朱印状])

- ・青字で表示されている語は索引語です。クリックすると、検索結果の一覧を表示します。
- ・史料名をクリックすると史料の所蔵などに関する目録データを閲覧することができます。
- ・掲載されている画像はクリックで拡大表示できます。なお、ページ末のリンクから画像の目録データを閲覧できま す。

#### 9目録データ



目録データは、本文に引用されている史料の出典や所蔵についての情報を閲覧できます。

#### \*目録データの見方

階層構造=史料がどのような機関や文書群の中に所蔵されているか、以下の「所蔵機関」~「歴史事象」まで階層構造をまとめて表記しています

所蔵機関=史料を所蔵する図書館・博物館などの機関

史料群=該当史料を含む史料群の名称

分類名・副分類名=該当史料が史料群の中での分類

文書集・文書=該当史料を含む史料集などの名称

歴史事象=該当史料の内容や、関連する歴史的事項についての説明

タイトル読み=歴史事象(イベント)の読み

人名・団体名=史料に関連する人名

主題=『石川県史』本文での見出し (標出)

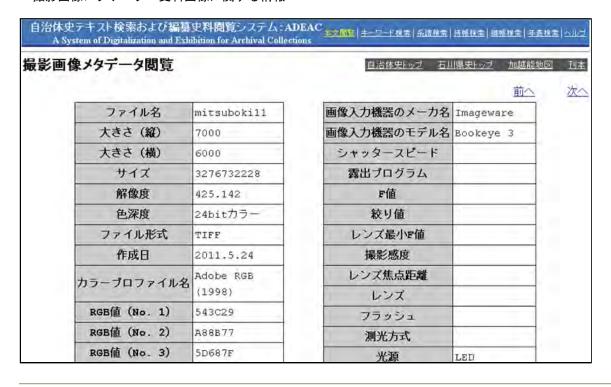
解題・説明=史料の内容に関する解説

自治体史詳細掲載個所=『石川県史』での掲載ページ

- ・史料所蔵情報=石川県立図書館に所蔵されている史料の所蔵目録データ(請求番号や内容に関する詳しい情報)
- ・撮影画像=引用箇所の史料原文(古文書の画像)。なお、県史本文に掲載されている史料の翻刻文と史料写真の本文が異なることがあります。これは、石川県史編纂時に筆者が利用した底本もしくは筆写内容と、現在石川県立図書館で所蔵されている史料が異なるためです。

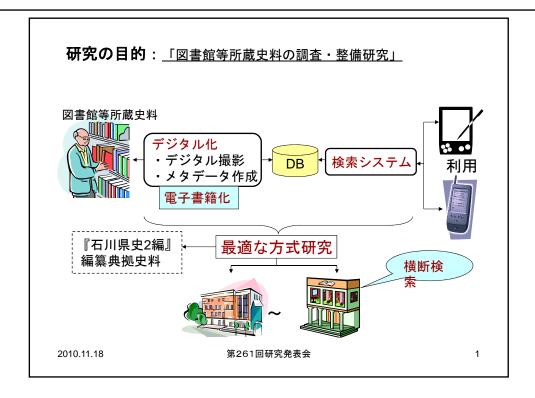


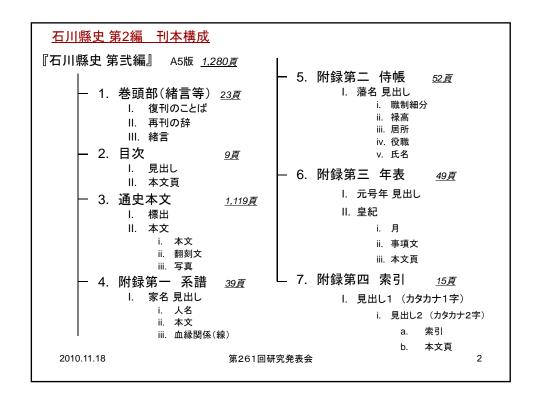
・撮影画像メタデータ=史料画像に関する情報

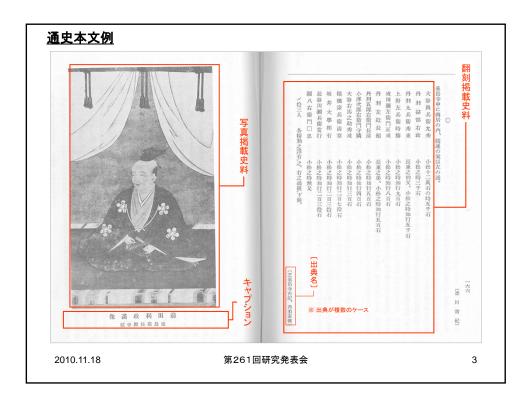


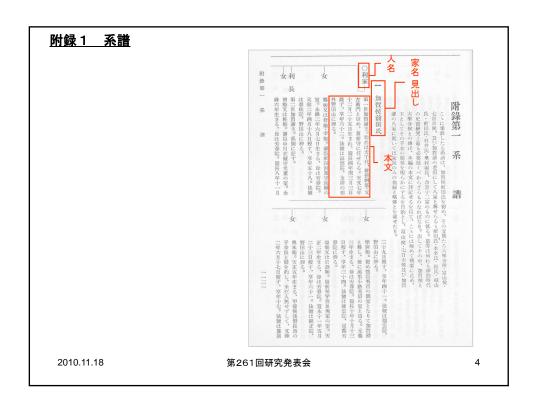
東京大学史料編纂所「社会連携研究部門」

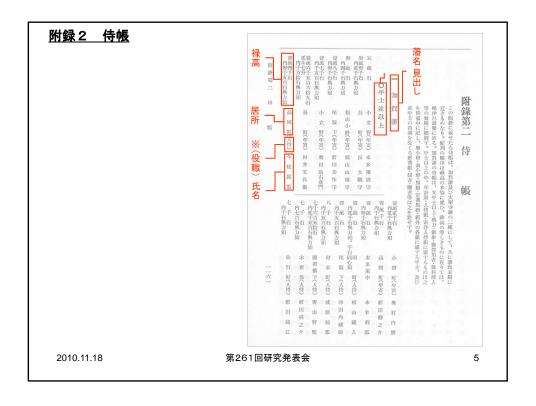
- 7. 報告等
- 7.1 所内研究発表会 着手報告

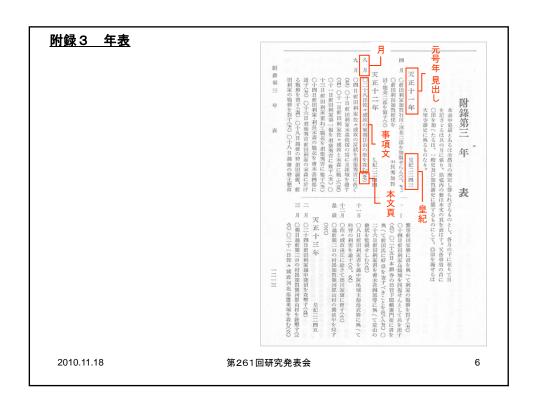












# 7.2 所内活動報告

2011 (平成 23) 年 4 月 25 日

東京大学史料編纂所 研究企画委員会 御中

社会連携研究部門 特任教授 石川 徹也 特任准教授 梅田 千尋

社会連携研究部門の 2011 年度の研究活動計画

### 1. 研究の目的と 2010 年度の成果

### (1)研究の目的と方法

当研究は「図書館等所蔵史料の調査・整備研究」を目的に、2010年度から3年間の計画で研究することを予定し、活動を開始した。全国の公共図書館・文書館・博物館等の公共機関に所蔵されている歴史資料(史料および編纂物)のより広汎な活用のため、デジタル化による閲覧・検索方法を提案することにある。

上記の目的を達成するために「図書館等所蔵の史料を利用に供する最適な方式の確立」が必要 と考え、下記のような機能の設計を推進している。

- 1) 史料のデジタル化(画像化・テキストデータ化・構造化) 方式の設計
- 2) 史料の管理・検索のための最適なメタデータの設計
- 3)上記1)、2)のデータを対象とする検索システムの構築

#### (2) 2010年の研究成果と課題

「図書館等所蔵の史料を利用に供する最適な方式の確立」のためには、試験用のシステムを構築し、評価実験を行う必要があることから、本所教員の助言を得て『石川県史』とその収録史料を対象に研究を進めた。ただし、『石川県史』は全6巻からなるが、研究費および研究期間の制約から藩政関係を対象とする『第二編』を対象に、版権所有者である石川県立図書館の許諾を得て進め、下記の研究成果を得た。

- ① 『第二編』のデジタル化・自治体史刊本のデジタル化に伴う検索機能の研究の基に最適なデ ジタル化方式の設計
- ②編纂引用史料のメタデータ項目の設計
- ③編纂引用史料のデジタル化方式の検討およびデジタル撮影要件データの設計
- ④上記①~③に基づく検索システムの設計・構築(実験用システム)

ただし、東日本大震災の影響から、③のデジタル撮影が開始できず、また④の評価用のシステム ( $\alpha$ 版)の開発に遅れが生じ、石川県立図書館との間の評価実験が実施できず、①から④の実用 化用システム ( $\beta$ 版)の検討に着手できなかった。

# 2. 2011 年度の研究計画

(1) 2011 年度の研究目標(当初目標)

評価用のシステム ( $\alpha$ 版) による石川県立図書館との間での評価実験を行い、実用化用システム ( $\beta$ 版) の開発を行う。この成果を基に、10 月にシンポジウムを開催し、汎用化に向け検討することを目標とする。

# (2) 実施計画

- 1)  $\alpha$  版システムの本所における稼働確認  $\cdot \cdot 5$  月中旬
- 2) 石川県立図書館との間での評価実験の開始・5月末から開始し、8月末までの予定 ただし、編纂引用史料のデジタル画像イメージは、3月末時点において、未撮影のため当 初はサンプル画像イメージにて実施し、撮影・データ化の終了に伴って実装し、改めて評 価を実施する
- 3)編纂引用史料のデジタル撮影…『第二編』の編纂引用のうち最多引用の『森田文庫』の撮影を実施する。5月末から開始し7月末完了の予定。 なお、『森田文庫』の撮影結果(本所仕様によるデジタル画像)を、石川県立図書館の許諾手続きの下に、本所に納品の予定
- 4) 以上に伴い、評価結果等を加味しβ版を開発・9月
- 5) 以上の成果を基に、実用化検討のためにシンポジウムを開催・10/14(金)

プログラム案:資料1

- 6) 『森田文庫』収載史料に対する史料のメタデータの作成・10 月以降継続し実施:基本データは「冊子目録」から採収しているが、デジタル画像イメージに基づき、加筆修正等を行う
- 7)以上を基に、「図書館等所蔵の史料を利用に供する最適な方式の確立」のためのマニュアル 化を計画する
- 8) 2011 年度と同様に、共同研究参加企業と全体検討会を必要に応じ随時開催し、研究推進を 実施する

以上

2012 (平成 24) 年 4 月 25 日

東京大学史料編纂所 研究企画委員会 御中

社会連携研究部門 特任教授 石川 徹也 特任准教授 梅田 千尋

社会連携研究部門の 2012 年度の研究活動計画

# 1. 研究の目的と 2011 年度の成果

# (1)研究の目的と方法

当研究は「図書館等所蔵史料の調査・整備研究」を目的に、2010年度から3年間の計画で研究することを予定し、活動を開始した。全国の公共図書館・文書館・博物館等の公共機関に所蔵されている歴史資料(史料および編纂物)のより広汎な活用のため、デジタル化による閲覧・検索方法を提案することにある。

上記の目的を達成するために「図書館等所蔵の史料を利用に供する最適な方式の確立」が必要 と考え、下記のような方式の構築研究を推進している。

- 1) 史料のデジタル化(画像化・テキストデータ化・構造化)方式の構築研究
- 2) 史料の管理・検索のための最適なメタデータの構築研究
- 3) 上記1)、2) のデータを対象とする検索システムの構築研究

#### (2) 2011年の研究成果と課題

「図書館等所蔵の史料を利用に供する最適な方式の確立」のため、試験用のシステムを構築し、評価実験を行う必要があることから、本所教員の助言を得て『石川県史』とその収録史料を対象に研究を開始した。研究費および研究期間の制約から、『石川県史』のうち藩政関係を対象とする『第二編』および政治的施設・文化を対象とする『第三篇』を対象に、版権所有者である石川県立図書館の許諾を得て進め、2010年度における基本設計を基に下記のような試験用システムの構築研究を実施した。なお、このシステム(自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム:ADEAC=A System of Digitalization and Exhibition for Archival Collections)は、『石川県史』以外にも汎用性をもつことを想定している。

- ①『第二編』および『第三篇』のデジタル化 自治体史刊本の最適な内容検索および収録史料の最適な閲覧方式の研究を目的に、『第二編』、『第三篇』のデジタル化を実施。
- ②『第二編』および『第三篇』に収録の編纂引用史料の内、石川県立図書館に所蔵の史料「森田文庫」のデジタル化および石川県立歴史博物館にて寄託所蔵のガラス乾板のデジタル化を実施。

- ③上記①および②を対象に、自治体史刊本の最適な内容検索および収録史料の最適な閲覧方式 のために、検索システムを構築し、史料編纂所のサーバに搭載するのと同時に、石川県立 図書館に PC1 台を貸与し搭載し、評価実験を開始。
- ④以上の研究にておおよその方向性を見いだせたことから、10 月 14 日に公開シンポジウムを開催し、多くの示唆をいただき、その結果を反映させ、2012 年 3 月 22 日に史料編纂所のサーバに、また 4 月 11 日に石川県立図書館に貸与の PC に最終版( $\beta$  版)を搭載し、これ以降、継続し評価実験を実施することとした。

### 2. 2012 年度の研究計画

# (1) 目標

当研究プロジェクトの最終年度として、特に 2011 年度の実証的な評価による課題を中心に課題解決検討を行い方式の確立を図る。また、成果として $\beta$ 版システムを史料編纂所のサーバーに搭載の上、所内公開するのと同時に、研究成果報告書を作成する。

# (2) 実施計画

- 1) β版システムによる石川県立図書館における実証評価の実施
- 2)『延宝金沢図』のデジタル化およびデータ作成

『第二編』および『第三篇』に掲載されている絵図の多くは、その中に記載の文字が判読不可能な部分が多く、有効な資料としての役割を果たせていない。このことは、最適な閲覧方式の研究を目的とする当該研究においての課題であることから、絵図史料の有効利用のためのデジタル化を目的に、実例として『延宝金沢図』のデジタル化を計画する。

また、関連するデータの作成には、特に人名・地名・地域事項等の精度化を目的に、地域にてデータ作成をする方式を提案するために、『延宝金沢図』のデジタル化に伴って、石川県立図書館にてデータ作成の推進を図ることを実施する。

- 3)以上の事項を踏まえ、当該研究プロジェクトの成果検討のために、石川県立図書館主体にて公開シンポジウムを計画する。
- 4) 当部門の3年間の活動内容を記録し総括するため、『成果報告書』を作成する。
- 5) β版システムをもとに、他自治体史への応用の可能性を検討する。

以上

2013 (平成 25) 年 1 月 21 日

東京大学史料編纂所 研究企画委員会 御中

社会連携研究部門 特任教授 石川 徹也 特任准教授 梅田 千尋

社会連携研究部門の 2012 年度の研究活動および 3 年間の総括

# 1. 2012 年度の研究成果

# (1)目標

当研究プロジェクトの最終年度として、特に 2011 年度の実証的な評価による課題を中心に課題解決検討を行い、「図書館等所蔵の史料を利用に供する最適な方式 (システム)」の確立を図る。また、成果として同システム  $\beta$  版を史料編纂所のサーバに搭載の上、所内公開するのと同時に、研究成果報告書を作成する。

### (2) 実施成果

上記の目標に対し、下記を実施した。

- 1) 研究開発の成果となる  $\beta$  版システムを確立し、史料編纂所のサーバに搭載の上、所内公開を実施するのと同時に石川県立図書館に供与し、実証実験を実施した。
- 2)『延宝金沢図』のデジタル化 大型史料の閲覧の促進を目的に、実例として『延宝金沢図』(589cm×434cm、石川県有形 文化財)のデジタル化(高精細撮影・画像処理・ADEACシステムへの搭載)を実施した。
- 3) 以上の成果を踏まえ、石川県立図書館において、 $\beta$ 版システムを図書館システムと同等に実用化することを決定した。なお、史料編纂所の手続きを経て、 $\beta$ 版システム搭載の貸与PCを石川県立図書館に寄贈した。
- 4) 石川県立図書館の実用化の決定を下に、共同研究参画企業において製品化の検討がなされ、 大学の許諾の下に、 $\beta$ 版システムを基とする製品化が推進され、11 月 21 日の「図書館総合展」において、2013 年 4 月から本格的に運用開始されることが発表された。
- 5)他自治体史への応用の可能性を検討することを目的に、『堺市史』をはじめいくつかの自治体史の実用化の問い合わせに、対応した。
- 6) 当部門の3年間の活動内容を総括するため、『研究成果報告書』を作成する。

# 2.3年間の総括

# (1)研究の目的と方法

当研究は「図書館等所蔵史料の調査・整備研究」を目的に、2010年度から3年間の計画で研究

を開始し、本年 2012 年度を以て終了した。研究の目的は、全国の公共図書館・文書館・博物館等の公共機関に所蔵されている歴史資料(古文書および編纂物)のより広汎な活用のために、デジタル化による閲覧・検索方法を確立し提案することにあった。この目的を具体的に達成するために「図書館等所蔵の史料を利用に供する最適な方式の確立」が必要と考え、下記のような方式の構築研究を推進してきた。

- 1) 史料のデジタル化(画像化・テキストデータ化・構造化) 方式の構築研究
- 2) 史料の管理・検索のための最適なメタデータの構築研究
- 3)上記1)、2)のデータを対象とする検索・閲覧システムの構築研究

# (2)研究成果

「図書館等所蔵の史料を利用に供する最適な方式の確立」のため、試験用のシステムを構築し、評価実験を行う必要があることから、本所教員の助言を得て『石川県史』とその収録史料を対象に研究を開始し、研究費および研究期間の制約から、『石川県史』のうち藩政関係を対象とする『第二編』および生活・文化等を対象とする『第三編』を対象に、版権所有者である石川県立図書館の許諾を得て進め、2010 年度に基本設計および試験用システムの構築研究を実施し<sup>1)</sup>、2011 年度に評価実験<sup>2)</sup> およびシステムの機能更新研究を実施し、本年 2012 年度に大型史料のデジタル化方式の研究を実施し<sup>3)</sup>、産学連携本部・東大TLOの指導のもとに、実用化に向け検討を行った。

- 1) 自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム: ADEAC (A System of Digitalization and Exhibition for Archival Collections)
- 2) 2011 年 10 月 14 日に公開シンポジウムを開催し、その結果を基に ADEAC の機能 更新研究を実施し、2012 年 3 月 22 日に史料編纂所のサーバに、また 4 月 11 日に 石川県立図書館に  $\beta$  版として供与し、評価実験を実施
- 3)『延宝金沢図』のデジタル化撮影・画像処理・ADEACシステムへの搭載および実 証実験を実施

#### (3)総括

以上の結果を踏まえ、石川県立図書館において、 $\beta$ 版システム ADEAC の実利用が決定された。 この結果、当研究成果は、当初の目的を十分達成したものと言える。また、特にわが国の図書館 所蔵の歴史資料の利用促進に、今後、大きく寄与するものと考える。

以上

# 7.3 成果発表シンポジウム概要

# 東京大学史料編纂所「社会連携研究部門」公開シンポジュウム

# 図書館所蔵史料のデジタル化公開方式

日時: 2011 年 10 月 14 日(金)13:30-17:40 (18:00-20:00 懇親会)

会場:東京大学 本郷キャンパス 山上会館

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\_00\_02\_j.html

東京大学史料編纂所社会連携研究部門では、デジタル化を通して図書館等に所蔵されている歴史資料(史料および編纂物)のより広範な利用を進めるため、2010 年度から 3 年間の計画で「図書館等所蔵史料の調査・整備研究」を行っています。

閲覧・検索方法の確立に関するこれまでの成果(下記)について報告し、ご意見等たまわりたく公開シンポジュウムを開催します。ふるってご参加ください。下記 URL にて参加申し込みをお願いします。

#### ·主題

- 1) 史料のデジタル化(画像化・テキストデータ化・構造化)方式の設計
- 2) 史料の管理・検索のための最適なメタデータの設計
- 3)上記1)、2)のデータを対象とする検索システムの構築

#### ・タイムテーブル

13:10 受付開始

13:30-13:40 あいさつ 所長 榎原雅治

13:40-14:00 「図書館等所蔵史料の調査・整備研究」の目的と成果 石川徹也 特任教授

14:00-14:30 (β版)システム紹介 共同研究参加者:大日本印刷株式会社

質疑(約15分)

14:45-15:00 休憩

15:00-15:35 史料のメタデータ等作成の設計と仕様 梅田千尋 特任准教授

共同研究参加者:株式会社図書館流通センター

質疑(約15分)

15:50-16:20 史料のデジタル撮影と課題 共同研究参加者:株式会社コンテンツ

質疑(約15分)

16:35-17:05 図書館にとっての効果 石川県立図書館:鷲澤 淑子

質疑(約15分)

17:20-17:40 研究プロジェクトへの期待 西村達也 大日本印刷株式会社 常務役員

18:00-20:00 懇親会:山上会館 会費:4,000円(予定)

お問い合わせ E-mail:c-umeda@hi.u-tokyo.ac.jp Tel:03-5841-6705

# 7.4 その他 1) ADEAC- 版提供概説資料

# 自治体史検索閲覧システム β版 画面説明

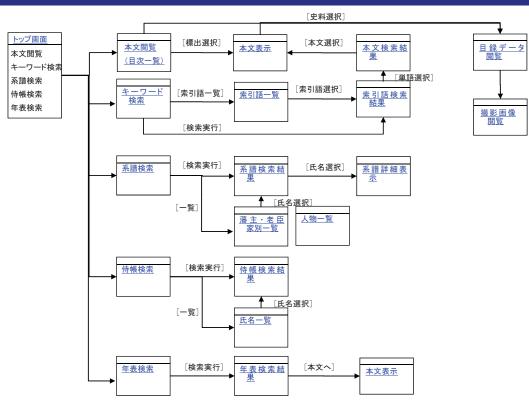
### ※ α版(2011/5/25)との変更点は以下のとおりです。

- ① 撮影画像(森田文庫)の画像データとメタデータ、史料所蔵情報が閲覧可能
- ② 刊本のデジタルブックが全章分閲覧可能
- ③ 本文閲覧の目次一覧表示の体裁を改良
- ④ 索引語検索とキーワード検索を1画面に合体。また索引語一覧では各索引語 に件数を表示

2011年7月28日 東京大学 社会連携研究部門

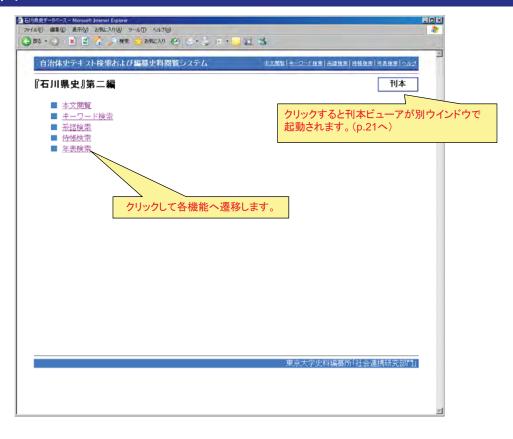
### **CONFIDENTIAL**

# 画面一覧



-

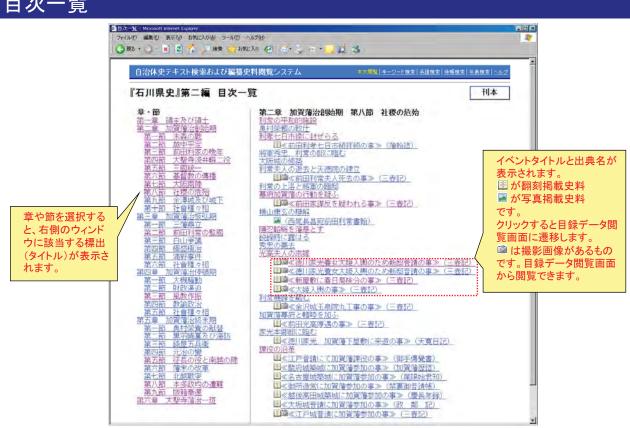
# トップ画面

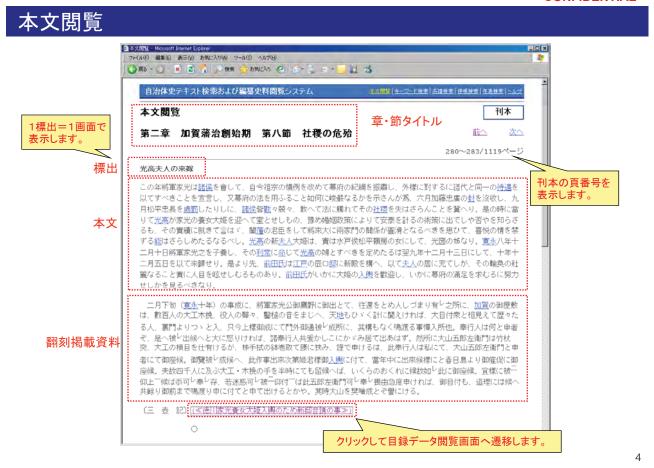


2

#### **CONFIDENTIAL**

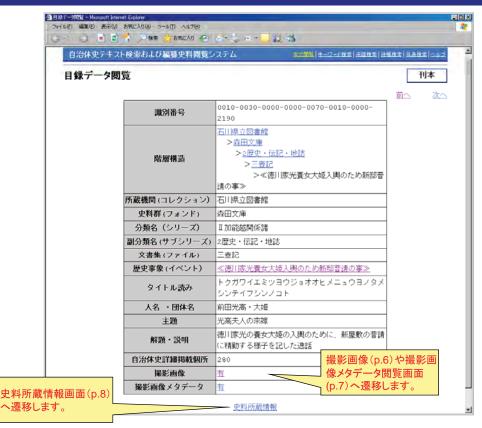
# 目次一覧





#### **CONFIDENTIAL**

# 目録データ閲覧



# 撮影画像閲覧



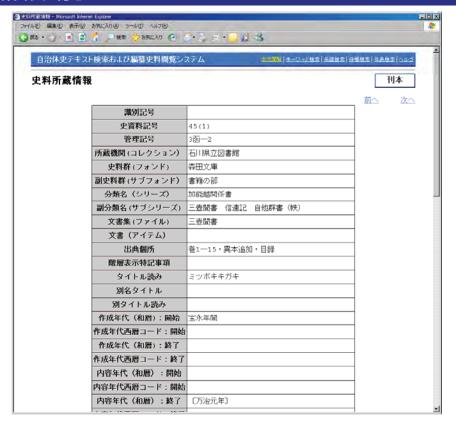
6

#### CONFIDENTIAL

# 撮影画像メタデータ閲覧

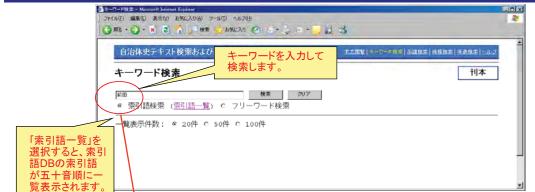


# 史料所蔵情報閲覧



8

#### CONFIDENTIAL



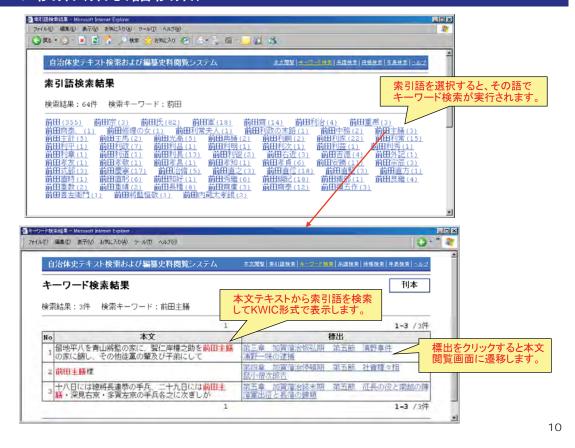
ド検索(索引語検索)

-ワ-

(p.11^)

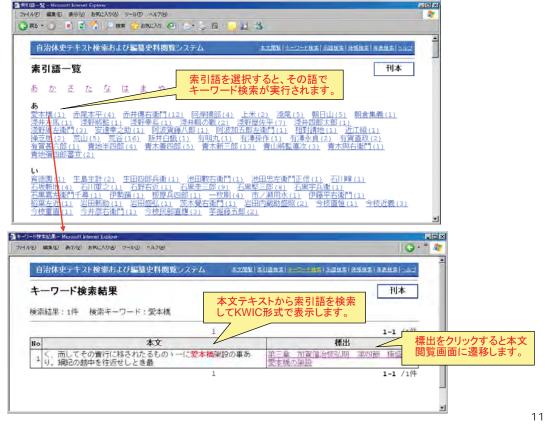


# キーワード検索(索引語検索)

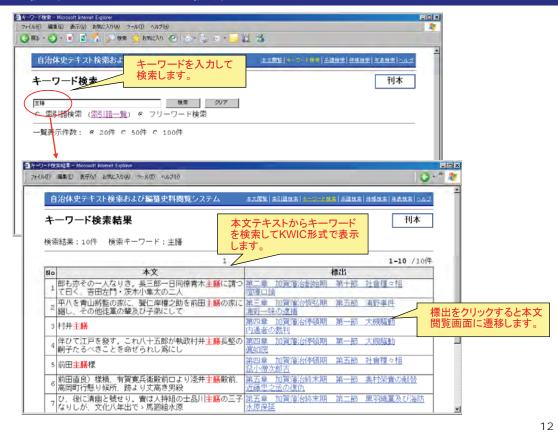


#### **CONFIDENTIAL**

# キーワード検索(索引語一覧からの検索)

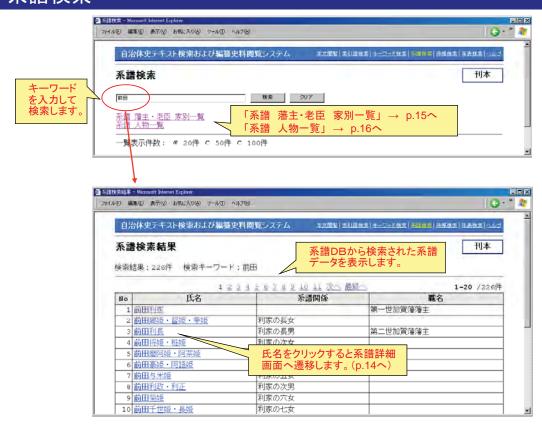


#### \_\_\_\_\_ キーワード検索(フリーワード検索)

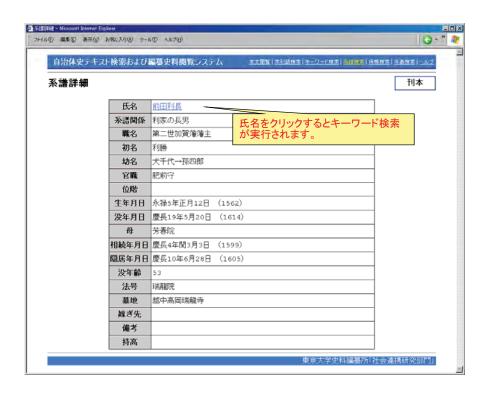


**CONFIDENTIAL** 

# 系譜検索



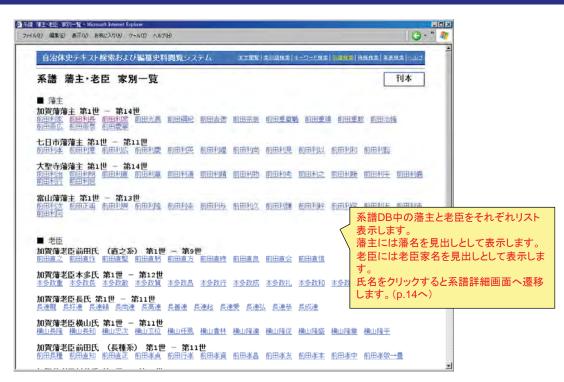
# 系譜詳細



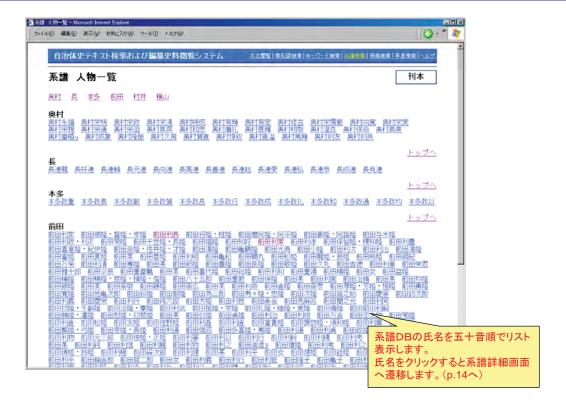
14

#### **CONFIDENTIAL**

# 系譜検索 (系譜 藩主・老臣 家別一覧)



# 系譜検索 (系譜 人物一覧)



16

## **CONFIDENTIAL**

# 侍帳検索



# 侍帳検索 (氏名一覧)



18

## **CONFIDENTIAL**

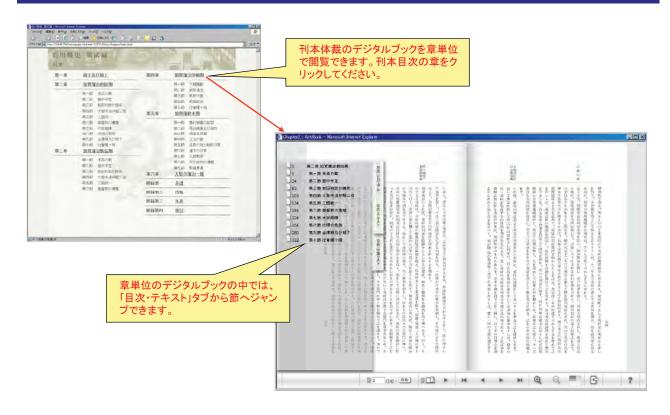
# 侍帳検索結果





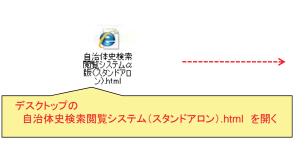
## **CONFIDENTIAL**

# 刊本(デジタルブック)



# スタンドアロン版とネットワーク版について

- 自治体史検索閲覧システムはネットワーク経由で利用するシステムですが、β版ではスタンドアロン版をインストールしております。
- ネットワーク版とスタンドアロン版の機能内容は同じです。
- スタンドアロン版を起動するには、デスクトップにある 自治体史検索閲覧システム(スタンドアロン).html を起動してください。
- ネットワーク版のURLは、<a href="http://clioknr.hi.u-tokyo.ac.jp/syakairenkei/index.html">http://clioknr.hi.u-tokyo.ac.jp/syakairenkei/index.html</a> です。





22

## 報道記事 2)

2010年 (平成22年) 10月14日 (木曜日) (13)

石川県立図書館が所蔵する 「石川県史」第2編。新検 ステムのモデルとなる 金沢市の同図書館

第2㎞をモデルに、 での距離を縮める の検索システム作りに

編集大史料

が戦前に編んだ。石川県史 生まれの郷土史家、 取るために所蔵先の図書館 ならないことである。 に何度となく足を運ばねば 1873~1946年 つが、求める史料を手に 東大史料編纂所は、 全国標 日順線 史料志

年表についても容易に探し 出すことができるシステム すべてデータ化し、 第2編の本文や図版などを 究部門の石川徹也特任教授 (情報学) り出している。 大史料編纂所社会連携研 研究を進めているのは、 Ú 石川県史 人名名

出し禁止。歴史研究者の前 ても利用は館内だけで貸し

とができない。閲覧でき

貴重ゆえになかなか見る

に立ちはだかるハードルの

を来年秋ごろをめどに完成 いせる計画である。 利便性が向上

•

• 0

状態にある館も少なくな とは言えないし、未整理の に収められている史料は現 石川特任教授は 十分に利用されている 図書館

を迎ばなくても、

それぞれ異なる規格の検学 料はこれまで、複数の業者 か図書館の整理業務や史料 公共の図書館や大学の図 一夕の作成を請け負い、 資料館が所蔵する史

るのである。 の史料を活用する道が開け 地域限定

冊に本文、写真、 が含まれ、「系譜 台川特任教授によると、 00

翻刻史料

標準的な内容を持って 検索システムを作る上で、 図書館が所蔵しており、 なる史料の一部を石川県立 る」からだそうだ。もとに 付録を備えるなど「多様な 行に深くかかわってきたと が進める「加能史料」の刊 少料編纂所が、 年表 「索引」といった 同図書館 侍帳 東 6

県史」をモデルに

にすれば、 中心に濃厚な地域性を持つ ット経由で活用できるよ 向上する」と狙いを話す。 ている。デジタル化するこ している更料は、郷上史を しで、所蔵する図書館に足 全国各地の図書館が収蔵 扱い切れない史料をネ 利便性は格段に

システムで運用してきた。 者が資金を提供、 を生かし検索システムの統 も視野に入れている。 連の研究には、 研究成果 複数の業

標準的な内容

では、モデルに

需要に応える

いう事情もあって白羽の矢

り、史料へのアクセスは増 関心を持つ人が増えてお 要に応える仕掛けを提供 ることがこれからの図書館 えることが予想される。 に求められる」と話して 特任教授は 需

# 北國新國新國社 〒924-8588 金級(134個) 2 新 1 号 電影(134個) 2 新 1 号 電影(1340) 1 号 電話 1 号 電 電 電 電 電

CHERRIST 20109

# シンポジウム記事(『東京大学学内広報』)



## 史料編纂所

史料編纂所社会連携研究部門公開シ 部局 ンポジュウム 「図書館所蔵史料のデ ジタル化公開方式」開催

史料編纂所では、2010年より3年間の予定で社会連携 研究部門を設置している。この部門では、産学連携組織 としてプロジェクト参加企業(大日本印刷(株)・(株) 図書館流通センター・丸善(株)・(株) 雄松堂書店・(株) コンテンツ) との共同研究として、公共図書館などに所 蔵されている歴史資料(史料および編纂刊行物)のデジ タル化による活用システムについて研究を行っている。 また、石川県立図書館とも協定を結び、館所蔵史料の目 録・画像データ作成について協力を得ている。

10月14日(金)午後、山上会館大会議室にて、この研 究プロジェクトの成果報告となる公開シンポジュウム 「図書館所蔵史料のデジタル化公開方式」が開催された。 参加者は、大学・研究機関の他、公立図書館・公文書館・ 博物館、IT関連企業など各分野から127名にのぼった。

シンポジュウムは、史料編纂所榎原雅治所長の挨拶を もって開会した。続いて、部門を主宰する石川徹也特任 教授(情報学)より、研究の目的と成果に関する基調報 告が行われ、本部門が開発した「自治体史テキスト検索 および編纂史料閲覧システム (以下「ADEAC」と略) の 概要が紹介された。また、大日本印刷株式会社の伊藤直 之氏により、ADEAC ( $\beta$ 版) の実演が行われ、今回の研 究素材である『石川県史』電子版の検索機能や、典拠となっ た古文書との参照関係などの機能について説明を行った。 休憩後、各専門分野に関する個別報告を行った。梅田千 尋特任准教授は、歴史学の立場から、史料の電子化にお けるメタデータ作成の設計について報告し、(株)コン テンツの石間衛氏は史料のデジタル撮影と画像処理上の 課題について論点を提示した。また、石川県立図書館の 鷲澤淑子専門調査員は、図書館における効果や今後の期 待について述べた。最後に、参加企業を代表して大日本 印刷株式会社西村達也常務役員から、出版文化事業と ITの活用について展望が語られた。

いずれの報告に対しても、図書館などの実務を踏まえ た積極的な発言が寄せられ、活発な質疑が交わされた。 社会連携研究部門では、引き続きADEACの実用化・商 用化に取り組む予定である。



ADEACについて説明する石川徹也特任教授



大学院薬学系研究科・薬学部 全学教職員懇話会開催

全学教職員懇話会は教職員が一堂に会して、個人の立 場で一つのテーマについて話し合う場として、第1回が 平成22年12月9日(木)に開催された。今回の第2回は 10月27日(木) 18時から薬学系研究科総合研究棟2階講 堂において、「東大の秋季入学・卒業を考える」をテー マに薬学系研究科の主管により開催された。

濱田純一総長の挨拶の後、一條秀憲薬学系研究科教授、 堀井秀之工学系研究科教授、永田敬総合文化研究科教授 の話題提供に引き続き、教職員による活発な討議が行わ れた。出席者は約130名であった。また、懇話会終了後、 20時より薬学系研究科総合研究棟10階大会議室におい て、和やかに懇親会が行われた。



話題提供者による説明

## 4) ポスターセッション発表報告

## 梅田千尋

■「東京大学史料編纂所社会連携研究部門自 治体史テキスト検索および編纂史料閲覧シス テム: ADEAC (A System of Digitalization and Exhibition for Archival Collections) の 紹介 |

東京大学史料編纂所社会連携研究部門では、公共図書館などに所蔵されている歴史資料 (史料および編纂刊行物)をデジタル化によって活用するシステムの開発に取り組んでいる。ポスター発表では、その成果である「自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム (ADEAC) 」β版の概要について紹介した。

ADEACでは、現在『石川県史』第二編(昭和3年刊)を電子化し、PC上で本文の全文検索・閲覧機能や、年表・人名による検索、典拠となった古文書の所蔵データ(史料メタデータ)や史料画像とのリンク付による拡張的な表示が可能となっている。また、今後は同県史の他巻や他の自治体史との横断を表で視野に入れている。近年、自治体史のジタル化・インターネットでの公開に取り込む事例がみられるが、複数タイトルの横断索・閲覧という水平方向への拡張、およれる歴史情報・編纂成果を結びつける垂直方向への拡張可能性が本システムの特徴である。

コアタイムでは、ノートPCを利用して ADEACの実演を行い、検索・閲覧システ ムの機能について紹介した。参観者からは、 データ形式やメタデータ間の検索機能実装の 見込み、管理者によるデータ修正の可否など、 技術的内容にも踏み込んだ質問・ご感想を頂 いた。こうした声を活かしつつ、社会連携研 究部門では、引き続きADEACの実用化に取 り組む予定である。

なお、本部門は2010年 - 2012年度の3年間 史料編纂所に設置される産学連携部門であり、 プロジェクト参加企業(大日本印刷(株)・

- (株) 図書館流通センター・丸善(株)・
- (株) 雄松堂書店・(株) コンテンツ) との 共同研究を行っている。また、石川県立図書 館とも協定を結び、館所蔵史料の目録・画像 データ作成について協力を得ている。

(東京大学史料編纂所社会連携研究部門)

『全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報91号』2012年3月31日 p50-51

## 自治体史デジタル化の現状 5)

2012年9月時点で公開が確認されている自治体史を一覧にまとめた。東京大学史料編纂所社会連携研究部門調べ。 文化財・資史料・絵図を中心としたデジタルライブラリーや、書誌情報のみのものは除外した。

# 1.WEB上で本文が公開されているもの

				閲覧が可能な		+Th.	11 BB P	TO 66: +-1	
	都道府県	自治体名	サイト名	典拠·書名	発行年	趣旨説明	公開方式注	現管轄部門	http
1	北海道	函館市	『函館市史』 デジタル版	函館市史	1972- 2007	「『函館市史』の内容をテキ スト化し、公開しています。」	HTML、サイト 内google検 索、島根県立 大学e漢字 フォント	函館市中央図書館	http://www.city.hakodate.ho kkaido.jp/soumu/hensan/hak odateshishi/shishi_index.htm
2	北海道	帯広市	帯広市史	帯広市史	2003	全6編中第一編の概要	HTML、音声 読み上げあり	帯広市政策推進部 広報広聴課	http://www.city.obihiro.hokk aido.jp/seisakusuisinbu/kouh oukouchouka/shishi.jsp
3	北海道	十勝支庁	十勝の記憶 デジタル アーカイブ	1市19町の 既刊自治体 史		平成15・16年度の事業として十勝市町村 1市19町を デジタルデータ化し公開	HTML	十勝支庁	http://www.tokachi.pref.hokk aido.jp/d-archive/index.html
4	北海道	八雲町・ 熊石町	デジタル八 雲町史・デジ タル熊石町 史	『八雲町史』· 『熊石町史』	1983- ?	「改訂八雲町史」を、独立行政法人国立病院機構八雲病院の筋疾患入院者の会協力によりデジタル(テキスト)化	HTML	八雲町役場 情報政策室	http://www2.town.yakumo.ho kkaido.jp/history/
5	北海道	福島町	福島町史	福島町史· 第2巻·通説 編(上)	1995	『福島町史・第2巻・通説編 (上)』に続く『福島町史・第2 巻・通説編(下)』は、今後追加予定	HTML	福島町役場 教育委員会 生涯学習グルー プ福島町史研	http://www.town.fukushima.h okkaido.jp/chiyohshi/index.ht ml
6	北海道		遠軽町史	?		個人作成か?	HTML	遠軽町・遠軽町 役場総務課承	http://itokhotsk.iobb.net/gan bo/tyousi/main.htm
7	東京都	武蔵野市	市のプロ フィール	武蔵野市百年史		「『武蔵野市百年史』のダイジェスト版として、武蔵野村の開村から百年間に焦点を当てながら太古から現在までの歴史をたどります。」	HTML	武蔵野市役所	http://www.city.musashino.lg .jp/musashino.profile/hyakun enmonogatari/index.html
8	新潟県	新潟県	越後佐渡デ ジタルライブ ラリー	新潟県のあ ゆみ	1990	本文(検索可)および関連 画像を閲覧できる。『新潟県 史資料編24民俗・文化財 三』(新潟県の歴史遺産)・ 『新潟県史別編1年表・索 引』(新潟県年表)も有	HTML	新潟県立図書 館·新潟県立公 文書館	http://www.pref- lib.niigata.niigata.jp/Archives /
9	石川県	根上町	根上の歴史	出典書誌情 報無		町史ダイジェスト。能美市に 合併。北陸先端科学技術大 学院大学杉山公造研究室 による作成	HTML。用語 はYahoo辞書 とリンク。	町立図書館	http://www.jaist.ac.jp/ks/lab s/sugiyama/introduction/t- kita/neagari/
10	石川県	辰口町		WEB辰口町 史		北陸先端科学技術大学院 大学杉山公造研究室による 作成			http://www.jaist.ac.jp/ks/lab s/sugiyama/introduction/k- koseki/web- tatsunokuchi/index.htm
11	福井県	福井県	福井県文書 館 デジタル 歴史情報	『福井県史』 通史編	1993- 1996	『図説福井県史』も有	HTML	福井県文書館	http://www.archives.pref.fuk ui.jp/fukui/07/kenshi/tuushii ndex.html
12	山梨県	身延町	身延町誌	「身延町誌」 「身延町誌・ 資料編」	1970 <b>-</b> 1996	2002年12月公開	HTML、今昔 文字鏡使用	身延町	http://www.town.minobu.lg.jp /chosei/choushi/minobu/ind ex.htm
13	三重県	亀山市	亀山市史		2011	2011/3/28新規編纂事業を 経て刊行せずWEB公開。考 古・民俗・通史など分野ごと に独立サイト。通史は特殊 な表示形態で通読困難	HTML他	亀山市歴史民 俗博物館	http://kameyamarekihaku.jp/ sisi/index.html
14	兵庫県	尼崎市	web版図説 尼崎の歴史	図説尼崎の 歴史	2007	尼崎市が提供したデータをもとに、園田学園女子大学短期大学部生活文化学科情報メディアコースの学生がサイトを設計・構築	HTML	尼崎市地域研 究資料館	http://www.archives.city.ama gasaki.hyogo.jp/chronicles/vi sual/
15	福岡県	夜須町史	夜須町史	夜須町史	1991	個人ボランティアによる作成	HTML		http://www.sewayaki.jp/ken3 9/yasu/rekichi/index.html
16	佐賀県	武雄市	全文検索	武雄市史	1972- 1973	『武雄市史』他『ふるさとの 歴史散歩・武雄』など一括 検索。検索結果として市史 本文を閲覧できる。市史は 電子書籍として図書館貸出 も可	全文検索	武雄市図書館・ 歴史資料館	http://www.epochal.city.take

2.PDF形式 刊行された自治体史がPDF方式で公開され、Web上でファイルをダウンロードができるもの

						ァイルをダウンロードができる			
	都道府県	自治体名		典拠·書名	発行年	趣旨説明	公開方式注	現管轄部門	http
17	北海道	森町	旧町(森町・ 砂原町)町 史のダウン ロード	森町史	?	合併前旧町の町史を資料 とする為電子化	PDF	森町教育委員 会	http://www.town.hokkaido- mori.lg.jp/edu/social/post_29 .html
18	北海道	砂原町	旧町(森町・ 砂原町)町 史のダウン ロード	砂原町史	?	合併前旧町の町史を資料 とする為電子化	PDF	森町教育委員 会	http://www.town.hokkaido- mori.lg.jp/edu/social/post_29 .html
19	秋田県	五城目町	五城目町史 ジタルデータ	五城目町史	2004	「完成した町史は、印刷・製本に多額の費用がかかることから、このたびは印刷・製本して発刊せず、デジタルデータとして町ホームページに掲載します。」	PDF	五城目町役場 まちづくり課	http://www.cs.town.gojome.a kita.jp/gyosei_choshi.htm
20	山形県	白鷹町	町史	白鷹町史	1977		PDF	白鷹町役場	http://www.town.shirataka.lg. jp/dd.aspx?menuid=1250#mo duleid2377
21	山形県	舟形町	舟形町の歴 史	舟形町史	1982	指定文化祭報告書『船形町 の文化遺産』も公開	PDF	船形町	http://www.town.funagata.ya magata.jp/pcp_portal/exlink/ rekishi/cyoushi/index.html
22	埼玉県	和光市	和光市歴史 の玉手箱	和光市史	1981- 1984	スライドショー・図録PDF版 ページもあり	PDF	和光市教育委 員会生涯学習 課·文化財保護	http://rekitama-wako.jp/
23	東京都	福生市	福生市史	福生市史	1990	市制20周年の記念事業『福 生市史』を上下巻ともに閲 覧できる	PDF	福生市立図書 館	http://www.lib.fussa.tokyo.jp /chiikishiryo/index07.html
24	東京都	福生市	福生町誌	福生町誌	1960	町制施行20年記念として昭和35年に発行された『福生町誌』を全ページ閲覧できる	PDF	福生市立図書 館	http://www.lib.fussa.tokyo.jp /chiikishiryo/index06.html
25	東京都	武蔵野市	市のプロ フィール	武蔵野市百 年史続編	2011	『武蔵野市百年史』の続編 として記述編、資料編、年 表編を発刊(資料編につい ては著作権上の問題から web上では掲載せず)	PDF	武蔵野市企画政策室 企画調整課 歴史資料館開設準備担当	http://www.city.musashino.lg .jp/musashino_profile/9115/i ndex.html
26	山梨県	下部町	旧下部町の 町誌	下部町誌	1981	身延町へ合併	PDF	身延町	http://www.town.minobu.lg.jp /chosei/rekishi.php
27	山梨県	中富町	旧中富町の 町誌	中富町誌	1971	身延町へ合併	PDF	身延町	http://www.town.minobu.lg.jp /chosei/rekishi.php
28	岐阜県	養老町	養老町の歴 史文化資源	養老町史	1978		PDF	養老町教育委 員会	http://tagizou.com/main/elik rary/
29	兵庫県	芦屋市	芦屋市史な ど芦屋の資 料	芦屋市史	1956- 1971	芦屋市史・史料集をPDFで ダウンロード可能に	PDF	教育委員会社 会教育部生涯 学習課	http://www.city.ashiya.lg.jp/kouhou/shiryou.html
30	兵庫県	加西市史	加西市史の権	構成		各巻概要(市史だより)	PDF	加西市立図書 館 郷土資料係	http://www.city.kasai.hyogo.jp/02kank/08sisi/03kous.htm
31	高知県	春野町	春野町史 (PDF版)	春野町史	1976		PDF	高知県春野町 郷土資料館	http://www.city.kochi.kochi.j p/deeps/20/2006/muse/ch oshi/choshi.html
32	高知県	大豊町	町史·館報	大豊町史	1974- 1987		PDF		http://www.town.otoyo.kochi .jp/dl/?k=4
33	福岡県	みやこ町	町史ダイジェ スト	豊津町・旧 犀川町・旧 勝山町		2006年3月20日、旧豊津町・ 旧犀川町・旧勝山町の3町 が合併し、みやこ町に	PDF	みやこ町歴史 民俗博物館	http://miyako- museum.jp/digest/index.php
34	鹿児島県	鹿児島市史	鹿児島市史 等	鹿児島市史	1969- 1971、 1990		PDF	政策推進課	http://www.city.kagoshima.lg jp/_1010/shimin/7siseijouho u/7-1aramasi/_42589.html
35	鹿児島県	谷山市	鹿児島市史 等	谷山市誌	1967	鹿児島市合併時に旧町村 史を公開	PDF	鹿児島市政策 推進課	http://www.city.kagoshima.lg jp/_1010/shimin/7siseijouho u/7-1aramasi/_42589.html
36	鹿児島県	吉田町	鹿児島市史 等	吉田町郷土詞	1991	鹿児島市合併時に旧町村 史を公開	PDF	鹿児島市政策 推進課	http://www.city.kagoshima.lg jp/_1010/shimin/7siseijouho u/7-1aramasi/_42589.html
37	鹿児島県	桜島町	鹿児島市史 等	桜島町郷土詞	1988	鹿児島市合併時に旧町村 史を公開	PDF	鹿児島市政策 推進課	http://www.city.kagoshima.lg jp/_1010/shimin/7siseijouho u/7-1aramasi/_42589.html
38	鹿児島県	喜入町	鹿児島市史 等	喜入町郷土詞	2004	鹿児島市合併時に旧町村 史を公開	PDF	鹿児島市政策 推進課	http://www.city.kagoshima.lg jp/_1010/shimin/7sisejjouho u/7-1aramasi/_42589.html
39	鹿児島県	松元町	鹿児島市史 等	松元町郷土誌	1986	鹿児島市合併時に旧町村 史を公開	PDF	鹿児島市政策 推進課	http://www.city.kagoshima.lg jp/_1010/shimin/7siseijouho u/7-1aramasi/_42589.html
40	鹿児島県	郡山町	鹿児島市史 等	郡山郷土史	2006	鹿児島市合併時に旧町村 史を公開	PDF	鹿児島市政策 推進課	http://www.city.kagoshima.lg jp/_1010/shimin/7siseijouho u/7-1aramasi/_42589.html

3.目次など 地域内の複数の自治体史の目次を一括検索できるもの

	見 自治体名	サイト名	典拠・書名	発行年	趣旨説明	公開方式注	現管轄部門	http
41 埼玉県	埼玉県	埼玉県関係 史誌 目次 一覧	埼玉県史・ 埼玉県教育 史・埼玉県 行政史など		埼玉県立図書館所蔵の埼 玉県関係の歴史・地誌資料 について目次を掲載。所蔵 状況は蔵書検索システムで 検索できる	HTML.Google 検索		https://www.lib.pref.saitama.j p/stplib_doc/saitama/other/ mokuzi.html
42 神奈川!	₹ 横浜市	横浜市史II 一刊行一覧 /総目次・ 総索引一	横浜市史Ⅱ	1993- 2004	通史編・資料編の目次(細目)、索引	HTML		http://www.city.yokohama.lg. jp/somu/org/housei/sisi/sisi .html
43 長野県	長野県	長野県市町 村史誌目次 データベー			地域ごとの検索可能	HTML	長野県図書館 協会	http://misuzu-mokuji.net/
44 京都府	京都府	京都府内市町村史目次集 [総合資料館]			総合資料館が所蔵している 主な京都府内各市町村史 誌類の目次を収録	HTML	京都府立総合 資料館	http://www.pref.kyoto.jp/kai dai/mokuzi-index.html

## 4.電子図書館

	電子書籍	昔として作月	なされたもの、	電子図書館の	コンテン	ツとなっているもの			
	都道府県	自治体名	サイト名	典拠·書名	発行年	趣旨説明	公開方式注	現管轄部門	http
45	5 富山県	常光寺町	常光寺電子 図書館	常光寺町史	1982	町内の真宗寺院鹿熊山常 光寺のサイト内に収録。常 光寺町は昭和29年に滑川 市に合併	電子書籍	鹿熊山常光寺	http://books.jyoukouji.com/
46	岐阜県	+==	大垣市電子	<b></b>	2008-		電子書籍	大垣市立図書	https://dnp-cms.d-
40	) 哎午示	人坦巾	図書館	大垣市史	2010		电丁盲相	館	library.jp/ocpl/
	/ 沖縄県	読谷村		読谷村史·第		web版/電子書籍版あり	电丁音相 HTML/電子 書籍	<u>館</u> 読谷村史編集 室	library.jp/ocpl/ http://www.yomitan.jp/sonsi /index.htm

## 2010 年度-2012 年度 東京大学史料編纂所社会連携研究部門

# 研究成果報告書

(東京大学史料編纂所研究成果報告2012-3)

発行日 2013 年3月 日

編集·発行東京大学史料編纂所社会連携研究部門

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号

Tel:03-5841-6705

\*無断転載・複写はご遠慮ください。

表紙画像:自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム ADEAC(A System of Digitalization and Exhibition for Archival collections) 版 東京大学史料編纂所社会連携研究部門

本システム「自治体史テキスト検索および編纂史料閲覧システム: Collections)」は、既刊「自治体史」および引用・掲載史料のデシ の個別検索と、収録されている「自治体史」の全てを対象とする横断 本システムのデジタル化・検索等方式は、2010(平成22)年~2 研究」の成果に基づいています。

